

第五十九回
帝國議會貴族院

地租法案特別委員會議事速記錄第一號

付託議案	藤田 四郎君
地租法案	湯地 幸平君
營業收益稅法中改正法律案	馬場 錠一君
砂糖消費稅法中改正法律案	長岡 隆一郎君
織物消費稅法中改正法律案	後藤 文夫君
明治四十一年法律第三十七號中改正法律案	木村 清四郎君
大正十五年法律第二十四號中改正法律案	大橋 新太郎君
都市計畫法中改正法律案	森 平兵衛君
委員氏名	尾崎 元次郎君
委員長 伯爵柳澤 保惠君	大橋 新太郎君
副委員長 男爵阪谷 芳郎君	森 平兵衛君
公爵一條 實孝君	尾崎 元次郎君
侯爵細川 護立君	濱口 儀兵衛君
子爵梅小路定行君	田中 一馬君
子爵大久保 立君	小林 暢君
子爵大河内輝耕君	森田 福市君
子爵裏松 友光君	昭和六年三月十一日(水曜日)午後一時十 六分開會
水野鍊太郎君	○委員長(伯爵柳澤保惠君)是ヨリ委員會ヲ開キマス、大藏大臣ヨリ先般議場ニ於テ説明ヲシタコトガアッタガ、尙ホ御要求ニ依レバ説明ヲシテ宜シト云フコトデゴザイマスガ、或ハ簡単ニ要點ノ御説明ガアレバ同ヒタイト存ジテ居リマス
伊澤多喜男君	「異議ナシ」ト呼フ者アリ
男爵藤村 義朗君	○國務大臣(井上準之助君)先般本會議ニ於キマシテ、大體ノ説明ヲ致シマシタガ、
男爵黒田 長和君	正ヲ致シマス、第八開墾、地目變換其他土
片岡 直溫君	極ク具體的ニ付キマシテ今日ハ先般ノ本會議ノ補足トシテ説明イタシタイト存ジマス、
	地租ノ改正ト減税ト云フモノニ付キマシテ申シマスト、一ハ現行地租ノ課稅標準ニアリマス、地價ヲ廢シテ賃貸價格ヲ課稅標準止致シマシテ十年目毎ニ之ヲ改訂イタシマス、サウシテ改正當初ノ賃貸價格ハ曩ニ賃貸價格調査法ニ依リマシテ決定シタモノニ依リマス、二ハ現行地租條例ハ之ヲ全然廢止イタシマシテ新タニ地租法ヲ制定イタシマス、第三ニハ租率ハ各地目トモ之ヲ百分ノ三・八ト致シマス、第四ハ地租ノ納期ハ大體從前ノ通リト致シマスガ、但シ田租ノ第一期ヲ翌年一月一日カラ三十一日限リト改メマス、第五、自作農地ノ免稅點ヲ賃貸價格二百圓ト致シマス、第六ハ課稅標準及稅率ノ改正ニ因ル負擔ノ激増ヲ緩和スル爲ニ、新地租額ガ現在地租額ノ三倍八割ヲ超過ニ付キマシテハ、三倍八割ヲ超過セザルヤウ賃貸價格ヲ制限イタシマス、七、賃貸價格ヲ一般的ニ改訂スルマデノ期間ニ於ケル異動地ニ付ハ類地比準ニ依リ稅務署長ニ於キマシテ其賃貸價格ノ設定又ハ修
	地ノ異動ニ依リマシテ課稅標準ノ設定又ハ修正ヲ爲スニ當リマシテ必要ト認ムル場合ノ外ハ地盤ノ丈量ヲ省略スル方針ヲ以テ改正ヲ加ヘマス、九、各種ノ年期ハ大體現行地、開墾又ハ地目變換ノ年期等ニ對スル賃貸價格ノ設定又ハ修正ハ年期満了ノ年ニ於テ之ヲ致シマス、十一、賃貸價格ノ設定又ハ修正ヲ爲シタル土地ニ付テハ其翌年ヨリ設定又ハ修正ノ賃貸價格ニ依リマシテ地租ヲ徵收イタシマス、十二、改正法ハ昭和六年ヨリ之ヲ實行イタシマス、十三、昭和六年度ニ限リマシテ稅率ヲ百分ノ四ト致シマス、十四、賃貸價格ノ第一回ノ改訂ハ昭和十一年四月一日ノ現在ニ依リ調査シ、昭和十二年ニ於テ課稅標準額ノ改訂ヲ行ヒマス、ソレカラ今度ハ營業收益稅ノコトヲ極ク要領ヲ申上ゲマスト、法人ノ稅率ヲ百分ノ三・四、現行ハ百分ノ三・六デアリマスガ、ソレニ個人ノ稅率ヲ百分ニ・六ニ改メマス、現行ハ二・八デアリマス、第一、個人ノ小營業者ニ對スル負擔ヲ緩和スル爲ニ千圓以下ノ純益ニ付キマシテハ稅率ヲ百分ニ・二ト致シマス、第三、個人ニ付キマシ

ト、但シ昭和六年度分ヨリ改正法ヲ適用スルコニ對スル稅率ヲ百分二、五トシ、千圓ヲ超ユル純益ニ對シマシテハ稅率ヲ一、八トシテ適用イタシマス、第四、法人ニ付キマシテハ昭和七年四月以降ニ終了スル事業年度分ヨリ改正法ヲ適用イタシマス、砂糖消費稅ノ輕減ニ付キマシテハ、稅率ヲ左ノ通り改正イタシマス、是ハ單ニ數字デゴザイマズガ、一ツ私ガ試ミニ讀上ゲテ見マスガ、第一種甲ト云フノヲ是ハ一斤ガ脫ケテ居リマスガ、百斤ト云フコトニ全部……總テノコトヲ百斤ト立テ居リマスカラ、甲ノ百斤一圓ト云フノヲ九十錢ニ下グマス、第一種ノ乙ハ二圓ノヲ一圓八十錢、第一種ノ丙ハ二圓五十錢ノ一圓二十五錢、第二種ハ五圓ノヲ四圓五十五錢第三種ハ七圓三十五錢ノヲ六圓七十五錢、第四種ノ八圓三十五錢ヲ七圓七十五錢、第五種ノ十圓ヲ九圓五錢ヲ七圓七十五錢、乙ノ八圓三十五錢ヲ五錢、ソレカラ乙ハ一圓五十錢ノヲ二圓二十錢ニ改メマシテ、改正法ハ昭和七年一月一日ヨリ之ヲ施行イタシマス、織物消費稅ノ輕減

ハ課稅せザル織物ノ範囲ヲ擴張イタシマシテ、下級ノ麻織物及び下級ノ毛織物類ヲ加ヘマス、又綿織物ノ絹、人造絹等ヲ交織シマスモノヲ全重量ノ百分ノ五未滿ナル時ハ課稅セヌコトニ改正イタシマス、是ハ此書キ方デハチヨット要領ヲ得マセヌガ、今マデハ百分ノ五未滿デアリマシテモ絹ガ一本デモ或ハ人造絹ガ一本デモ這入テ居リマス。課稅シテ居ツクノヲ斯様ニ改メタノデアリマス、ソレカラ稅率從價百分ノ十ヲ百分ノ九ニ全體ヲ改メマス、三ノ改正法ハ昭和六年十二月一日カラ之ヲ施行イタシマス、其結果ガ減稅計畫ニ依ル輕減額ガ平年度ニ於キマシテハ、地租デ千八十一萬圓、營業收益稅デ四百六十一萬五千圓、砂糖消費稅デ六百五萬九千圓、織物消費稅デ四百十三萬六千圓、合計イタシマシテ二千五百六十二萬二千圓、昭和六年度ニ於キマシテハ總額ガ年度割ガ少カッタ爲ニ大變減テ居リマジテ、地租ニ於キマシテハ六百七十七萬圓、營業收益稅ニ於テ百二十一萬四千圓、砂糖消費稅ニ於テ九十一萬一千圓、合計イタシマシテ九百十一萬三千圓ダケ減稅ニナル計畫デアリマス。

質疑ニナルコトト存ジテ居リマスルガ、本案ハナカヽ多クゴザイマスルノデ、先づ當分ノ中ハ大體ノコトニ付テ御質問ヲ願ヒタイト存ジテ居リマス、大體ガ濟ミマシタラ順次法案ニ付テ御質問ニナッタラ宜シカラウト存ジマス、如何デゴザイマスカ、ソレデ宜シウゴザイマセウカ

○委員長〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレデハ左様ニ取計ヒマス

○水野鍊太郎君 地方稅ノ方モ關聯シテ居リマスガ、是ハ内務大臣ハ御出ニナリマセヌカ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 内務大臣ハ只今伺^ツタ所ニ依リマスト、ドウシテモ衆議院ヲ離レラレヌサウデゴザイマシテ、此次ニ願ヒタイト云フコトデゴザイマス

○長岡陸一郎君 チヨット材料ノ要求ヲ致シタイト思ヒマスガ、此際申上ゲテ宜シウゴザイマスカ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 宜シウゴザイマス

○長岡陸一郎君 昨日當局ヨリ種々ノ材料ヲ御配付ニナリマシテ誠ニ感謝イタシマス、尙ホ其外ニ誠ニ御面倒デ恐レ入リマスガ、

本案ノ審議上参考ト致シタイ材料ヲ御送付
ヲ願ヒタイノデアリマス、第一ハ各國ニ於
ケル直接税間接税ノ税額並ニ其割合、是ハ
各國ト申シマシテモ世界各國全部ト云フヤ
ウナ、サウ云フ無理ナコトヲ御願ヒスル趣
旨デハゴザイマセヌノデ、御調べノ付キマ
スル歐米ノ主ナル國ミニ於ケル直接税間接
税ノ税額及ビ其割合、第二ハ昭和五年度ニ
入リマシテ以後ノ各府縣別ノ縣税市町村稅
ノ徵税概況、是ハ確カ衆議院デモ要求ガア
タサウデゴザイマスガ、未ダ御配付ニナッテ
居ラヌヤウデゴザイマスガ、府縣ノ當局者
ニ聞キマスト、此調べニ付テハ大分前ニ内
務省ニ回答ヲシテアルト云フコトデゴザイ
マスカラ、今日デハ地方局デ御調べガ付イ
テ居ルヤウニ承ッテ居リマスノデ、昭和五年
度ニ入りテ以後ノ各府縣別ノ縣税市町村稅
ノ徵税概況、之ヲ御配付ヲ願ヒタイト存ジ
マス、ソレカラ第三ハ埼玉、新潟、福島各
縣、三重縣ノ一部、奈良佐賀兩縣ニ於ケル
各市町村ノ昭和五年度稅收入總額、戸數割
込額、地租附加稅制限内徵收額、及ビ改正
稅法ニ依ル平年度地租附加稅制限内徵收見
込額、是ハ昨日御配付ニナリマシタ書類ノ
中岡山縣、栃木縣、三重縣ノ一部ト云フヤ
ウナ御調べヲ頂戴イタシマシテ非常ニ参考

況ヲ異ニ致シテ居リマスル寧ロ反對ノ状況ヲ示スベシト思ハレル只今申上ゲマシタ五
県及三重縣ノ残部ニ付テノ御調ベヲ御配布ヲ願ヒタウゴザイマス、ソレカラ第四ガ昭
和四年度市町村歲入歲出決算調、第五ガ昭
和五年度四月一日以降今日マデノ地方起債
許可申請額、本年二月末日地方起債許可額
調、内務省ニ於テ許可ヲ決シ、大藏省ニ送
付シタル起債申請額、ソレカラ第六ハ衆議
院ニ御提出ニナリ、又昨日御配布ニナリマ
シタ参考書類ノ中ノ地方稅關係改正法律
案、施行勅令要項、今回ノ地方稅改正ニ伴
フ勅令案ノ全部デゴザイマスレバソレデ宜
シウゴザイマスガ、若シ之ガ全部デナケレ
バ、又全部ニアラズト認メラレルヤウナ節
モゴザイマスカラ、地方稅制限法ノ施行勅
令案ノ要項、ソレカラ地方稅ニ關スル法律
施行勅令及省令案ノ要項、全部御配付ヲ願
ヒタウゴザイマス、今一ツ第七東京市内ニ
於ケル法人ノ納ムル地租額ヲ各會社別ニ、
各會社ノ最近年度ノ營業収益稅額、及ビ將
來改正地租法ニ依ル地租納稅見込額、之ダ
ケヲ御調べノ上ニ、誠ニ御迷惑デゴザイマ
スルガ御配付ヲ願ヒタウゴザイマス、ソレ

マシタ書類全部昨日御配付ニナツコトト
考ヘテ居リマスルガ、漏レタモノモアルセ
ウデゴザイマスカラ、衆議院ノ特別委員會
ニ御提出ニナリマシタ書類ハ全部御提出ヲ
願ヒタウゴザイマス、尙ホソレニ付加ヘテ
申上ゲマスノハ、義務教育費國庫負擔金増
額一千万圓ニ依ル地方ノ負擔輕減調、是ハ
都市ハ各都市別ニ又町村ハ府縣別、稅務局
別デ宜シウゴザイマス、此中ノ都市ノ御調
べヲマダ全部戴イテ居リマセヌヤウニ存ジ
マスガ、マダ實ハ昨日戴イタ書類ヲ全部調
査シテ居リマセヌカラ、戴イテ居ルノカチ
存ジマセヌガ、單リ此問題ノミナラズ、只今
申上ゲマシタ書類モ若シ重複シテ居リマシ
タラ御注意ヲ願フテ御省キヲ願フテモ差支
ザイマセヌ、殊ニ此義務教育費國庫負擔全
額一千萬圓ニ依ル府縣輕減調、衆議院ニ
御配付ニナリマシタ参考書類ノ中若シ萬二
數字ニ間違ガゴザイマシタナラバ、御訂正
ノ上ニ御提出ヲ願ヒタイト存ジマス、御問
違ヒガゴザイマセヌケレバ其儘デ宜シウゴ
ザイマス、御間違ヒガゴザイマンテ御訂正
ニナルヤウデゴザイマシタナラバ、元ノ書
議院ニ御提出ニナツ書類ト、御訂正ニナツ
タ書類ト對照シテ見タイト思ヒマスノデ、
兩様御提出ヲ願ヒタイト存ジマス、誠ニ御

迷惑デゴザイマスルガ、私ハ是ダケノ書類ノ御提出ヲ要求イタシテ置キマス
○水野鍊太郎君 今日ハ實ハ外務大臣、海軍大臣方御出ニナッテ居リマセヌカラ御答ハ如何カト思ヒマスガ、大藏大臣モ閣議ニ列セラレテ居ルノデアリマスカラ、御事情ハ御承知ノコト思ヒマスカラ、其點ヲ第一ニ伺ヒタイ、新聞紙ノ傳フル所ニ依ルト此度佛伊卽チ佛蘭西ト伊太利間ニ海軍ノ軍縮ニ關スル條約ガ成立シタト云フノヲ承知シマシタノデアリマス、外字新聞等ヲ見マシテモサウ云フコトガアリマシテ、而モ或ル程度ノ内容マデモ出テ來ル、ソレニ依リマスルト佛蘭西ノ海軍ノ如キハ或ル意味ニ於テ擴張ノヤウニモ見エルノデアリマス、殊ニ潛水艇ノ如キハ其兵力量ガ確カ八万二千噸トカ云フコトガ新聞ニ出テ居ル、此佛伊條約ノ結果ト云フモノハ倫敦條約ニドウ云フ影響ヲ及ボスモノデアルカ、又其結果ガ日本ガ倫敦條約ニ於テ日英米ノ間ニ取結バレタ所ノ條約トドウ云フ關聯ガアルノデアリマスカ、又其結果ニ依リマスレバ或ハ我國ノ財政計畫ニモ考ヲ及ボサネバナラヌノデハナイカト云フ疑ヲ持ツノデアリマス、此事實ノ内容ニ付テハ、實ハ精シイコトヲ承知イタシテ居リマセヌケレドモ、此

問題ハ我帝國ニ於ケル海軍ノ問題ニ關シマ
シテハ極メテ重大デアル、又其結果ガ將來
云ハバ財政ノ上ニ影響ヲ及ボスコトナキヲ
保セナイト思フ、併シ是ハ私ハ事實ヲ實ハ
能ク承知シテ居ラヌ、全クノ疑ナノデアリ
マス、而シテ此佛伊條約ハ日本ニモ無論通
知ニナツテ居ルト思フノデアリマス、我日本
帝國ノ態度ハマダ極ツテ居ルカドウカマダ
承知イタシテ居リマセヌ、唯新聞ニ依ルト
今日十一日ニハ其コトガ發表ニナルト云フ
ヤウナコトガアルノデアリマスルガ、是等
ニ付テ定メシ内閣ニ於テハ其實情ハ大體ニ
於テ御分リニナツテ居ルコトト思フノデア
リマス、但シソレヲ今日御發表ガ出來ルカ
ドウカハ承知イタシマセヌガ、又直グ私ノ
此問ヒニ付テ御答ガ出來ルカドウカト云フ
コトハ分リマセヌガ、此コトニ付キマシテ
ハ一應其内容ト竝ニ此問題ニ對シテ今後帝
國政府ノ執ルベキ方針ガ御極マリニナツテ
居ルナラバ、ソレヲ此處ニ御話ヲ願ヒタイ、
斯ウ思フノデアリマス、大藏大臣ガ此コト
ニ付テ御答ガ出來ヌト云フコトデアリマス
ルナラバ、外務大臣竝ニ海軍大臣ノ御出席
ヲ求メマシテ伺ヒタイト思フ、居ルノデア
リマス、若シ大藏大臣ニシテ此大要ナリト
モ御説明下サルコトガ出來ルナラバ仕合セ

ト存ジマス

○國務大臣（井上準之助君） 事柄ヲ或ル程

度マデ承知イタシテ居リマスガ、外交ノ關係
デアリマスルノデアリマスカラ、私ハ是ハ
外務大臣ト海軍大臣ノ臨席ヲ求メテ答辯イ
タシマンシタ方ガ宜シイト云フ考デアリマス
ガ、只今ナラバ私カラ申シテ宜シウゴザイ
マス、又他日デ宜シイト云フ御考ナラバ、
ソレニ依リマシテ……。

○水野鉢太郎君 今日ト限ル譯テハナイノ
デアリマス、唯此法案ト或ル程度ニ於テ濛
聯シテ居ルモノデハナイカト云フ疑ヲ持チ
マスノデ、明日デモ宜シウゴザイマス、ドウ
ゾ外務大臣、海軍大臣ニ其意ヲ御傳ヘ下サ
イマシテ、茲ニ御出席ニナッテ御答辯アラン
コトヲ希望イタシマス

シマシタ

○水野鍊太郎君　此先程委員長カラ御述べ
ニナリマシタ通リニ、先づ此大局カラ見タ所
ノ大體ノ問題ニ付キマシテ、政府ノ御意嚮
ヲ伺ッテ置キタイト思フノデアリマス、詳細

スガ、宜シウゴザイマスカ
○委員長(伯爵柳澤保惠君) 宜シウゴザイ

○水野録本願君此度ノ減税案ハ國稅地

○水野鉄太郎君　此度ノ減税案ハ國稅地
方稅ニ付テノ重要ナル改正デアルノデアリ
マス、此法案ヲ詳細ニ一應ハ拜見イタシマ
シタケレドモ、寃ニ複雜デアッテ、十分ニ領得
シ得ナイ點ガ多クアルノデアリマス、併シ
其内容ニ付テハ今之ヲ御尋ネシヤウト言フ
ノデアリマセヌ、大體論ニ付テ御伺ヲ致シ
マス、此所謂減稅案ト稱シテ居リマスモノ
ヲ、中央財政竝ニ地方財政ヲ通ジテ見マス

ト、同時ニ來年度ニ於ケル豫算ヲ見マスルト、私ハドウモ此政府ノ財政計畫ニハ何トナク不安ヲ感ジテ居ルノデアリマス、將來此財政計畫が能ク行ハレテ行クコトデアルヤ否ヤ、或ハ又其間ニ缺陷ヲ生ジ、若クハ蹉跌マシテ、實ハ私ハ非常ニ不安ヲ感ズルト同ヲ生ズルコトナキヤ否ヤト云フコトニ付キ

時ニ心配ヲ致シテ居ルノアリマス。此財界ノ不況ノ際ニ當リマシテ、大藏大臣ト

午後一時四十九分開議
休憩イタシマス
○委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレデハ暫時
レバ暫時中止イタシマスガ如何デスカ
「〔サウ願ヒマス」ト呼フ者アリ」

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 只今ヨリ開會
イターナマベ

ルサウテアリマス。若シ皆様御出ニ才
暫時中止イタシマスガ如何デスカ
〔「サウ願ヒマス」ト呼フ者アリ〕
委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレデハ暫時
心イタシマス

午後一時四十四分休憩

午後一時四十九分開議

委員長（伯爵柳澤保惠君）　只今ヨリ開會

チ興ヘルヤウナ豫算チ作ル 財政計畫チ機

テルト云フコトノ御困難デアルト云フコト
ハ、是ハ私モヨク諒承シテ居ルノデアリマス
ス、ソレニモ拘ラズ兎ニ角アレダケノ豫算
ヲ御作リニナリ、又ソレニ伴フ所ノ諸法案
ヲ御持ヘニ相成タト云フ點ニ付キマシテ
ハ、寧ロ深ク御同情イタスノデアリマス
○委員長(伯爵柳澤保惠君) チヨット水野
サンニ何デスガ、今總理大臣ガ議場ニ見エ

見積りニ付テハ過大デアルト云フ虞レナキ能ハズ云々ト云フヤウナ言葉ガアッタカノ如クニ承知イタシテ居ルノデアリマス、來年度ノ豫算ヲ見マスルト云フト、今日ノ不況時代ニ際シマシテ、確カニ收入ニ於テ缺陷ガ生ジハシナイカ、政府ノ收入見積ガ過大デハナイカト云フ不安ヲ懷イテ居ルノハ、

是ハ私ハ確ガテアテウト思フノテアリマス、政府ノ御話ニナリマシタ如ク、サウ云

其結果が未外豫算委員長より報告ヲ受ケテ届

○水野鍊太郎君 私ハ此來年度ノ豫算竝ニ付テ不安ヲ懷クト申上ゲ
政府ノ財政計畫ニ付テ不安ヲ懷クト申上ゲ
タノデアリマスガ、是ハ獨リ私一人ノ杞憂
人モ同一ナ感想ヲ持ッテ居ルノデハナイカ
ト思フノデアリマス、殊ニ本貴族院ニ於キ
マシテモ、豫算委員會ニ於キマシテモ、種
種ノ質問應答ガアツタノデアリマス、而シテ

其結果が未外豫算委員長より報告ヲ受ケテ届

云フ疑ヒノ起ルコトハ止ムヲ得ナイコトデ
アリマス、マア第一ニ、ソレニ付テモ不安
ガアルノデアリマスガ、尙ホ此我國ノ將來
ノ財政ニ付テ考慮イタシマスレバ、更ニ一
般ノ不安ヲ感ズルノデアリマス、私ハ政府
當局ト共ニ其憂ヒヲ分チタイト思フノデア
リマス、何人ガ局ニ當リマシテモ、今日ノ
實情ニ於テ我國ノ財政ヲ立直スコトハ困難
デアルノデアリマスガ、是ハ朝ニ在ルト野
ニ在ルトヲ問ハズ、共ニ共ニ心ヲ同ジウシ
テ、我國將來ノ財政ニ付テハ堅質ナル方法
ヲ取ツテ行クコトガ、國家ノ爲ニ必要デアル
ト思フノデアリマス、ソレ故ニ私ハ大藏大
臣ノ今日ノ御立場ニ御同情ヲ表スルト共
ニ、大藏大臣ニ向ツテドウシテモ確メテ置カ
ネバナラヌコトガアルノデアリマス、誠ニ
御迷惑デアリマセウガ、何卒此點ハ御互ニ
胸襟ヲ開イテ、國家ノ爲ニ十分ニ密議ヲ盡
シタイト思フノデアリマス、デ、其結果ト
云フモノガ此減稅案ニ及ンデ來ルノデアリ
マスカラ、私ハ大體論トシテ二三ノ點ヲ御
シテ又減稅案ト云フヤウナモノモ御提出ニ
ノ豫算ハ兎ニ角數字ニ於テ辻棊ガ合ツテ、而
確メ致シタイト思フノデアリマス、來年度
相成ツタノデアリマス、併シ國家ハ唯一年ダ

カナインデアリマス、將來ノコトモ考ヘヲ及ボサナケレバナラヌノデアリマス、尤モリマセヌガ、少クモ此一二年ノコトハ御互ニ考慮シテ行カネバナラヌト思フノデアリマス、ソレデ將來ト申シマシテモ、來年度來年度、一二年ダケノコトヲ考ヘマスト、私ハ此日本ノ財政ニ非常ニ行詰リヲ生ジハシナイカト云フコトヲ心カラ憂ヘテ居ルノデアリマス、ソレハ、先ヅ第一ニハ海軍ノ軍縮、之ニ伴フ所ノ第二次計畫ト云フモノノガ論議サレテ居ルノデアリマス、此度倫敦條約ノ結果ト致シマシテ、從來ノ艦艇費ト申シマスカ、海軍ノ費用ニ付キマシテハ、幾ラカノ餘剩ヲ見タノデアリマス、從來五億八百万圓ト稱シテ居リマス、五億八百万圓ト云フノハ、是ハ現金ガアルノデハナク、唯紙ノ上ノ數字ニ於テハサウ云フコトノ數字ガ現ハレルト云フノデアリマスガ、併シソレハサウ云フ數字ガ現ハレルデアリマセウ、併シ其中デ海軍ノ方面ニ使ハネバナルヌ、而シテ剩餘ガアレバ、之ヲ減税ニ充テル、斯ウ云フノガ此度ノ財政計畫ニナルノデアリマス、海軍ノ軍備ノコトニ付キマシテモ、倫敦條約ノ結果幾ラカノ餘裕ハ見

軍ノ條約ダケデハ國防上足レリトシナイン
デアリマスルカラ、更ニ其上ニ飛行機其他
ノコトニ付テ、新シク計畫ヲ立テネバナラ
ヌト云フノデ、海軍ニ於キマシテハ、倫敦
條約ノ結果ニ鑑ミマシテ、一億幾ラデ
アリマシタカ、總額ニ於テ三億七千万圓
位ノ費用ヲ要求サレタノデアリマス、併シ
是ダケノ費用モ海軍ノ方カラ申シマスレ
バ、決シテ十分ダト云フテハ居ラナイノデ
アリマス、ケレドモ是ハ流石ニ大藏大臣ハ
能ク其點ニ付キマシテ、海軍當局ト御相談
相成リ、先ヅ此程度ヲ以テ満足シテ貰ヒタ
イト云フコトデ、其點ニ付テ海軍省トノ協
定ガ整ヒ、而シテ其殘タ所ノ一億三千四百
万圓デシタカ、ソレダケヲ此減稅ニ充テル
ト、斯ウ云フコトニナツテ居ル、私ハ大藏大臣
ノ御胸中ヲ忖度イタシマスレバ、甚ダ御
不滿デアッタラウト思フ、此減稅額ニ付テ
ハ、モット餘計減稅シタイト云フ考ガ必ズア
ルダラウト思フノデアリマス、又世間デモ
サウ云フ風ニ期待シテ居タ、然ルニ此度ノ
減稅額ヲ見マスルト、平年度ニ於テ二千五
百万圓、誠ニ微々タルモノニアリマス、而
モ其減稅ノ種目ガ僅カニ四ツニ限ラレテ居
ルト云フコトデアリマスルカラ、能ク世間

ガ之ヲ評シテ、蚊ノ涙デアルトカ、大空ヨリ一滴ノ水ヲ流シタモノデアルト云フヤウナ批評ヲ爲スノデアリマス、此批評ヲ聞カレマシテ、私ハ井上大藏大臣ハ非常ニ御不満デアラウト思フ、井上大藏大臣トシテハ海軍ノ方ノ費用ヲモット節約ガ出來レバ、減稅額ヲモット増シタイト、斯ウ云フ御考ヲ持テ居タラウト思フノデアリマス、日本ノ國防ノ上ニ於テ倫敦條約ノ結果共モノダケデアリマスレバ、今少シクハ減稅額ニ向ケルコトガ出來タ、併ナガラ倫敦條約ノ結果ダケデハ國防上足レリトシナイガ爲ニ、ヨリ以上ノ要求ガアッタノデアリマスカラ、是ハ已ムヲ得ナイト認メテ、ソレヲ承認サレタト同時ニ、減稅々々ト云フコトヲ云フテ居タノデアリマスカラ、茲ニ一億三千四百萬圓デスカ、ソレヲ無理々々ニ出シテ、茲ニ減稅案トシテ現ハレタコトト思フノデス、ソレ故ニ私ハ大藏大臣トシテ之ヲ満足シテヤッテ居ル、是デ宜イト思フテヤッテ居ルカト云フト、私ハ決シテサウデナイト思フ、モウ少シ何カ外ノ方法ガ出來、又他ニ財源ガアッタナラバ、今少シ餘計ニ減稅ヲシタイト云フ考ハヤマ／＼御有リニナツタト云フコトヲ推測スルノデアリマスガ、併シ鬼ニ角ソレニ付テ一億三千四百万圓ノ國稅ニ付

テ減稅ハ御出シニナツタガ、是ガ果シテ此財源ガアリヤ否ヤ、又成程來年度、再來年度位ハドウカ知リマセヌガ、將來ニ鑑ミマシテ、此減稅ヲウマク運用シテ行ケルカドウカト云フコトハ疑ヲ持ツノデアリマス、幸ヒニ今年度減稅案ガ通リマシテモ、他日一、二年カ、四、五年ノ中ニ又之ヲ何トカシテコトニナリマスレバ、私ハ是ハ國民ニ取り減稅ヲ戻シテ、増稅ヲセネバナラヌト云フコトニナリマスレバ、私ハ是ハ國民ニ取りケルコトガ出來タ、併ナガラ倫敦條約ノ結果ダケデハ國防上足レリトシナイガ爲ニ、ヨリ以上ノ要求ガアッタノデアリマスカラ、是ハ已ムヲ得ナイト認メテ、ソレヲ承認サレタト同時ニ、減稅々々ト云フコトヲ云フテ居タノデアリマスカラ、茲ニ一億三千四百萬圓デスカ、ソレヲ無理々々ニ出シテ、茲ニ減稅案トシテ現ハレタコトト思フノデス、ソレ故ニ私ハ大藏大臣トシテ之ヲ満足シテヤッテ居ル、是デ宜イト思フテヤッテ居ルカト云フト、私ハ決シテサウデナイト思フ、モウ少シ何カ外ノ方法ガ出來、又他ニ財源ガアッタナラバ、今少シ餘計ニ減稅ヲシタイト云フ考ハヤマ／＼御有リニナツタト云フコトヲ推測スルノデアリマスガ、併シ鬼ニ角ソレニ付テ一億三千四百万圓ノ國稅ニ付

テ減稅ハ御出シニナレバ要ルト云フコトハ、セヌガ、ソレハ別ト致シマシテ、今日ノ現状ニ於テモ第二次計畫ト云フコトハ考ヘネバナラヌ、現ニ其費用ハドレ位アルカト云フニ、一億四千万圓アルト云フ、是ハ公知ノ事實デアル、但シ其計畫ハ今日正確ニハカト云フコトハ疑ヲ持ツノデアリマス、幸ヒニ今年度減稅案ガ通リマシテモ、他日一、二年カ、四、五年ノ中ニ又之ヲ何トカシテコトニナリマスレバ、私ハ是ハ國民ニ取り減稅ヲ戻シテ、増稅ヲセネバナラヌト云フコトニナリマスレバ、私ハ是ハ國民ニ取りケルコトガ出來タ、併ナガラ倫敦條約ノ結果ダケデハ國防上足レリトシナイガ爲ニ、ヨリ以上ノ要求ガアッタノデアリマスカラ、是ハ已ムヲ得ナイト認メテ、ソレヲ承認サレタト同時ニ、減稅々々ト云フコトヲ云フテ居タノデアリマスカラ、茲ニ一億三千四百萬圓デスカ、ソレヲ無理々々ニ出シテ、茲ニ減稅案トシテ現ハレタコトト思フノデス、ソレ故ニ私ハ大藏大臣トシテ之ヲ満足シテヤッテ居ル、是デ宜イト思フテヤッテ居ルカト云フト、私ハ決シテサウデナイト思フ、モウ少シ何カ外ノ方法ガ出來、又他ニ財源ガアッタナラバ、今少シ餘計ニ減稅ヲシタイト云フ考ハヤマ／＼御有リニナツタト云フコトヲ推測スルノデアリマスガ、併シ鬼ニ角ソレニ付テ一億三千四百万圓ノ國稅ニ付

テ減稅ハ御出シニナレバ要ルト云フコトハ、セヌガ、ソレハ別ト致シマシテ、今日ノ現状ニ於テモ第二次計畫ト云フコトハ考ヘネバナラヌ、現ニ其費用ハドレ位アルカト云フニ、一億四千万圓アルト云フ、是ハ公知ノ事實デアル、但シ其計畫ハ今日正確ニハカト云フコトハ疑ヲ持ツノデアリマス、幸ヒニ今年度減稅案ガ通リマシテモ、他日一、二年カ、四、五年ノ中ニ又之ヲ何トカシテコトニナリマスレバ、私ハ是ハ國民ニ取り減稅ヲ戻シテ、増稅ヲセネバナラヌト云フコトニナリマスレバ、私ハ是ハ國民ニ取りケルコトガ出來タ、併ナガラ倫敦條約ノ結果ダケデハ國防上足レリトシナイガ爲ニ、ヨリ以上ノ要求ガアッタノデアリマスカラ、是ハ已ムヲ得ナイト認メテ、ソレヲ承認サレタト同時ニ、減稅々々ト云フコトヲ云フテ居タノデアリマスカラ、茲ニ一億三千四百萬圓デスカ、ソレヲ無理々々ニ出シテ、茲ニ減稅案トシテ現ハレタコトト思フノデス、ソレ故ニ私ハ大藏大臣トシテ之ヲ満足シテヤッテ居ル、是デ宜イト思フテヤッテ居ルカト云フト、私ハ決シテサウデナイト思フ、モウ少シ何カ外ノ方法ガ出來、又他ニ財源ガアッタナラバ、今少シ餘計ニ減稅ヲシタイト云フ考ハヤマ／＼御有リニナツタト云フコトヲ推測スルノデアリマスガ、併シ鬼ニ角ソレニ付テ一億三千四百万圓ノ國稅ニ付

テ減稅ハ御出シニナレバ要ルト云フコトハ、セヌガ、ソレハ別ト致シマシテ、今日ノ現状ニ於テモ第二次計畫ト云フコトハ考ヘネバナラヌ、現ニ其費用ハドレ位アルカト云フニ、一億四千万圓アルト云フ、是ハ公知ノ事實デアル、但シ其計畫ハ今日正確ニハカト云フコトハ疑ヲ持ツノデアリマス、幸ヒニ今年度減稅案ガ通リマシテモ、他日一、二年カ、四、五年ノ中ニ又之ヲ何トカシテコトニナリマスレバ、私ハ是ハ國民ニ取り減稅ヲ戻シテ、増稅ヲセネバナラヌト云フコトニナリマスレバ、私ハ是ハ國民ニ取りケルコトガ出來タ、併ナガラ倫敦條約ノ結果ダケデハ國防上足レリトシナイガ爲ニ、ヨリ以上ノ要求ガアッタノデアリマスカラ、是ハ已ムヲ得ナイト認メテ、ソレヲ承認サレタト同時ニ、減稅々々ト云フコトヲ云フテ居タノデアリマスカラ、茲ニ一億三千四百萬圓デスカ、ソレヲ無理々々ニ出シテ、茲ニ減稅案トシテ現ハレタコトト思フノデス、ソレ故ニ私ハ大藏大臣トシテ之ヲ満足シテヤッテ居ル、是デ宜イト思フテヤッテ居ルカト云フト、私ハ決シテサウデナイト思フ、モウ少シ何カ外ノ方法ガ出來、又他ニ財源ガアッタナラバ、今少シ餘計ニ減稅ヲシタイト云フ考ハヤマ／＼御有リニナツタト云フコトヲ推測スルノデアリマスガ、併シ鬼ニ角ソレニ付テ一億三千四百万圓ノ國稅ニ付

カナケレバナラヌト云フコトハ云フ迄モノナ
イノデアリマス、ソレ故此先ノ事ヲ考ヘマ
スレバ、サウ云フ點ニ於テ國ノ歳出ト云フ
モノハ非常ニ殖工テ行カナケレバナラヌ、
ソレカラ今日ハ財源ガ極メテ窮乏イタシ
居リマスルガ爲ニ、大藏大臣ガ非常ニ苦心
シテ各省ノ要求ヲ御削減ニ相成ッテ、是ハ各
省ノ方面カラ見レバ遺憾デアルガ、私ハ是
ハ已ムヲ得ナイト思フ、大藏大臣ノ御振り
ニナツタ鉈ノ御手腕ニ對シテ、私ハ敬意ヲ表
シテ居ルノデアリマス、併ナガラ其中ニモ
ドウシテモ放ツテ置ケナイモノガアル、例ヘ
バ例ヲ申シマスレバ幾ラモアリマス、此度
ハ追加豫算トシテ御提出ニ相成リマシタ
ガ、救護法實施ノ費用、是ハ大藏大臣ハ其
必要ハ認メテ居ラレル、併シ財源ガナイト
云フコトデ内務大臣ノ要求ヲ御拒ミニナッ
タケレドモ、救護法ノ實施ト云フコトハ今
日ハ一日モ緩ウスルコトガ出來ナイノデア
リマス、ソレ故ニ市町村長ヲ始メト致シマ
シテ各市ノ方面委員ナドハ上奏ヲシテ迄此
救護法ノ實施ヲ迫ラウト云フ聲ガ出タノデ
アリマス、而シテ實際ニハ私ハ救護法ハ實
施シテ行クコトハ今日ハ已ムヲ得ナイト思
トデ其儘ニナツタノデアリマスガ、到頭大藏

大臣モ才負ケニナリマシテ、追加豫算トシ
テ救護法實施ノ費用ヲ出シタ、來年度ハ僅
カ七十八万圓位デアリマシテ、來年ハ僅デ
アリマス、併ナガラ將來ハドノ位増シテ行
クカ、ソレハ相當増シテ行ク、先ヅ普通ノ
平年度ニ於テ最小限度トシテ國ガ四百万圓
モ出サナケレバナルマイ、ソレカラ地方ノ
府縣市町村ニ於テモソレト同額ヲ出サナケ
レバナラヌ、而シテ是ノ年々増加スル傾向
ガアルノデアリマス、ソレハ四百万圓カ五
百万圓、六百万圓ニ年々増加シテ行カナケ
レバナラヌ、此財源モ私ハ考ヘテ置カナケ
レカラ更ニ本年ハ失業救濟ノ名ノ下ニ道路
修築ニ關スル所ノ資源ヲ公債ニ御取りニ
ナッタノデアリマス、是ハ一部カラハ非常ニ
非難ガアリマス、政府ノ非募債主義ガ之デ
以テ壞ハレタト云ヒマスガ、是ハ今日ノ時
ニ主義トカ行懸リト云フモノハ捨テ貰ヒ
タイト思フノデゴザイマス、今日ハ財界ニ
於テハ非常ナ時デアルカラ、其非常ノ
時ニ處スルノニハ非常ナコトヲ考ヘナ
ケレバナラヌ、從來現政府ハ所謂非募
債主義ト云フモノヲ採ラレテ居タノデ
アリマスガ、今日ノ財政ガドウシテモ
他ニ財源ガナイ、而シテ又ソレニ付テ

モ相當ニ金融界、財界ニ影響ヲ來サナイト
コトデアリマセウ、政府モソコニ意ヲ致サ
レタノデアリマセウ、所謂失業救濟ト云フ
名ノ下ニ道路公債ト云フモノヲ御發行ニ相
成タノデアリマス、是ハ已ムヲ得マスマイ
ガ、併シ此後始末ハ私ハ考ヘテ頂カナケレ
バ相成ラヌト思フノデアリマス、失業救濟
ノ名ノ下ニ道路費トシテ二千二百万圓ヲ御
出しシニナツタ、ソレデ是ハ中央ニ二千二百万
ノ負擔ヲサセネバナラヌコトニ相成タノ
デアリマス、此公債ハ一年限リト云ハレテ
居リマスガ、是ハ昭和六年度ノ一年限リデ
果シテ失業者ガナクナルヤ否ヤ、此先ノ財
界、經濟界ノコトハ是ハ神ナラヌ身ノ御互
ニ豫想ハ出來マセヌケレドモ、先ヅサウ急
激ニ此財界、經濟界ガ好クナッテ來ルトハ思
ハレナイ、從々失業者ト云フモノハ一年度
限リデ消エテシモウ、ナクナッテシモウ、サ
ウ云フコトハ私ハアリ得ナイト思フノデア
リマス、サウスルト失業救濟ノ名ノ下ニ道
路公債ヲ發行シテ、是ハ一年度ダケデアル
カラ先ハヤラヌナドト云フ御辯明デアリマ
スルケレドモ、是ハ來年ノ七月以降ニ於テ

新シク豫算ヲ作ル時ニ於キマシテハ、此始
トハ必ズ起ルト思ヒマス、從テ失業救濟ニ
付テ他ノ方法ガナイ以上ハ、同ジク失業救
濟ノ名ノ下ニ道路公債ニナルカ、港灣ノ公
債ニナルカ、耕地整理ノ公債ニナルカ、何
カ分リマセヌケレドモ、地方事業ヲ興シテ、
之ニ依テ失業者ヲ救濟セネバナラヌト云
フコトハ、今日ト同ジコトニ相成リハシナ
イカト私ハ思フノデアリマス、而シテ之ニ
付テハ相當ノ利子モ要ルシ、又後ノ始末モ
考ヘネバナラヌノデアリマスカラ、是等ノ
コトニ考ヲ及ボシマスト、私 政府ガ此際
ニ唯一時限リ、唯其日ミノコトダケデ宜
イト云フヤウナコトデ、斯カル案ヲ御提出
ニナルト云フコトハ如何デアラウカト思フ
ノデアリマス、ソレノミナラズ實際ノ事ニ
付キマシテモ、私ハ井上大臣方如何ニ此豫
算ノ編成ニ苦心セラレタカト云フコトガ分
ルカト思ヒマス、從來我國ノ制度トシテサ
ウ缺陷モ認メテ居ラナカッタ所ノ煙草ノ元
賣捌制度ヲ止メテ、其方法ヲ變ヘテマデ收
入ヲ得ネバナラヌト云フ ヤウナコトモナ
サツテ御出デニナル、又獨逸賠償金ヲ減債基
金ニ繰入レテ、其事が如何ニモ御手柄デアッ
タカノ如クニ御吹聴ニナッタニモ拘ラズ、直

グ今年ヨリソレヲ變更セネバナラヌト云フ
コトニナッタ、更ニ最近ノ例ヲ取テ申シマ
スレバ、昨日モ確力豫算總會デ問題ニナッタ
サウデアリマスガ、財源ガナイ爲ニ司法省
ノ裁判所ノ事務停止ヲヤル、六十二箇所ノ
裁判所ノ事務停止ヲヤル、故ニアチラヲ漁リ
程財政ハ窮乏シテ居ル、故ニアチラヲ漁リ
コチラヲ考ヘテ無理矢理ニサウ云フ財政計
畫ヲ立テラレタ、今日ハ斯ウ云フ際ナンデ
アリマス、其際ニ私ハ果シテ此減税ト云フ
モノガ行ハレルノデアラウカドウカ、又假
リニ一年二年ハ行ハレテモ亦後戻リヲスル
ト云フヤウナコトノ憂ハナイモノデアルカ
ドウカト云フコトニ付テ、心カラ心配ヲ致
シテ居ルノデアリマス、是ハ井上君モ始終
本會議等ニ於テ御話ニナラレタ通り、今日
各國ノ狀況ハドウカト云フト、増税ヲヤッテ
居ル、増税ヲヤッテ、サウシテ事業ヲ興シ、
失業者ヲ救濟スルト云フヤウナコトヲヤッ
テ居ル、ソレヲ今日本デハ全ク是ダケノコ
トヲシテ減税ヲスル、其苦心ハ買シテ貰ハナ
ケレバナラヌ、誠ニ其通リデアリマス、私
ハ其通リデアルト思ヒマス、併シ減税ト云
フコトヲ私ハ決シテ惡イト言フノデハナイ、
今日ノ國民負擔ノ情勢ヲ見マシテモ非常ニ
重イノデアリマスルカラ、國民負擔ヲ減ズ

ルト云フコトハ誠ニ同感デアリマス、併シ
此内容ヲ見ルト、必シモ國民負擔ヲ減少ス
ルコトニナッテ居ラナイノデアリマス、全體
ヲ通ジテハ是ダケノ數字ガアルト云フケレ
縣市町村ノ地方稅ノ改正ヲ致シマシテ、之
ヲ通覽シテ見マスルト、或ル所ニハ非常ナ
增税ニナッテ居ル所モアリ、或ハ東京市ヲ初
メト致シマシテ、都市並ニ數府縣ニ於テハ
確ニ、事實今此處ニ數字ヲ述ベルヤウナコ
トハ致シマセヌガ、確ニ増税トナッテ居ル、
而モ大都市ニ於テハ甚シキ增税ニナッテ居
ル、私ハ之ヲ見テ實ニ心配ヲシタノデス、
今日政府デ減税案ヲ出シテ國民ノ負擔ヲ輕
クスル、斯ウ言テ居ルノダカラ、是ハ減税
ニナルノダ、減税ニナルノダト、誰デモ思
テ居ルノデアリマス、私共モ初メハサウ思
テ居ツタ、是ハマア今日ノ財界ノ狀況デハ誠
ニ結構ナコトダト思ヒマシタガ、詳シク内
容ヲ見ルト必シモ減税ニハナラナイ、ソレ
ハ減税ニナル所モアリマス、ケレドモ或ル
所ニハ今日ノ財界ノ狀況ニ於テハ増税ダト
思フノデアリマス、減税ダ減税ダト思テ居
ルノニ、實際ヤッテ見ルト増税ニナッテ居ル、
斯ウナレバ國民ノ思想ノ上カラ見テモ如何

税ダケ考ヘテ見テモサウデアリマス、況ヤ
ト牽聯シテ見マスルト隨分多クノ增税ニナ
ドモ、現ニ此度地租、營業稅ノ改正竝ニ府
縣市町村ノ地方稅ノ改正ヲ致シマシテ、之
ヲ通覽シテ見マスルト、或ル所ニハ非常ナ
增税ニナッテ居ル所モアリ、或ハ東京市ヲ初
メト致シマシテ、都市並ニ數府縣ニ於テハ
確ニ、事實今此處ニ數字ヲ述ベルヤウナコ
トハ致シマセヌガ、確ニ増税トナッテ居ル、
而モ大都市ニ於テハ甚シキ增税ニナッテ居
ル、私ハ之ヲ見テ實ニ心配ヲシタノデス、
今日政府デ減税案ヲ出シテ國民ノ負擔ヲ輕
クスル、斯ウ言テ居ルノダカラ、是ハ減税
ニナルノダ、減税ニナルノダト、誰デモ思
テ居ルノデアリマス、私共モ初メハサウ思
テ居ツタ、是ハマア今日ノ財界ノ狀況デハ誠
ニ結構ナコトダト思ヒマシタガ、詳シク内
容ヲ見ルト必シモ減税ニハナラナイ、ソレ
ハ減税ニナル所モアリマス、ケレドモ或ル
所ニハ今日ノ財界ノ狀況ニ於テハ増税ダト
思フノデアリマス、減税ダ減税ダト思テ居
ルノニ、實際ヤッテ見ルト増税ニナッテ居ル、
斯ウナレバ國民ノ思想ノ上カラ見テモ如何

コトマデシテ、今日サウ云フコトマデセネ
バナラヌカドウカ、私ハ根本カラ申シマス
レバ減税モ宜シイ、財政ノ建直シモ宜カ
ウト思フ、ソレニハ、モウ少シ筋ノ立タ國
民ヲシテ了得シ、納得セシムルヤウナ減税
サウ云フモノハ數字ノ上ニ於テハ、或ル所
レバ、地租ノ附加稅トカ營業稅ノ附加稅、
サウ云フモノハ數字ガ其通覽シテ見マスルト
メトガアル、假ニ地方稅ノ方カラ申シマス
ドモ、現ニ此度地租、營業稅ノ改正竝ニ府
縣市町村ノ地方稅ノ改正ヲ致シマシテ、之
ヲ通覽シテ見マスルト、或ル所ニハ非常ナ
增税ニナッテ居ル所モアリ、或ハ東京市ヲ初
メト致シマシテ、都市並ニ數府縣ニ於テハ
確ニ、事實今此處ニ數字ヲ述ベルヤウナコ
トハ致シマセヌガ、確ニ増税トナッテ居ル、
而モ大都市ニ於テハ甚シキ增税ニナッテ居
ル、私ハ之ヲ見テ實ニ心配ヲシタノデス、
今日政府デ減税案ヲ出シテ國民ノ負擔ヲ輕
クスル、斯ウ言テ居ルノダカラ、是ハ減税
ニナルノダ、減税ニナルノダト、誰デモ思
テ居ルノデアリマス、私共モ初メハサウ思
テ居ツタ、是ハマア今日ノ財界ノ狀況デハ誠
ニ結構ナコトダト思ヒマシタガ、詳シク内
容ヲ見ルト必シモ減税ニハナラナイ、ソレ
ハ減税ニナル所モアリマス、ケレドモ或ル
所ニハ今日ノ財界ノ狀況ニ於テハ増税ダト
思フノデアリマス、減税ダ減税ダト思テ居
ルノニ、實際ヤッテ見ルト増税ニナッテ居ル、
斯ウナレバ國民ノ思想ノ上カラ見テモ如何

デアラウカト思フノデアリマス、ソレハ國
レテ居ルカト云フコトガ分ルシ、サウ云フ

税政ノ根本整理ヲシヤウ、斯ウ云フ御考ニ出ラレタコトヲ、私ハ國家ノ爲ニ深ク喜ブノデアリマス、既ニサウ云フコトガアルト云フコトデアリマスルナラバ、今日唯人氣取ニ、唯一時ヲ糊塗スルガ爲ニ不完全デアリ缺陷ガ多ク、而モ國民ヲシテ根本カラ満足セシメナイヤウナ法案ヲ御作リニナラナイデ、減稅ヲ何處マデモスル、國民ノ負擔ヲ減ラス、ソレニハ斯ウ云フ方法デアルンダト云フ風ノ御建前ニ至ラナイカト云フコトヲ、私ハ遠カラ御伺ヒ致シタイト思タノデス、而シテ其時ニナリマスレバ、私共ハ、必シモ斯ウ云フ不完全デナイン、モット根本的案ヲ立テラレ得ルト私ハ考ヘテ居ル、僅カニ二千五百万圓バカリノミナラズ、又稅ノ種目ガ四種目ニ限ラズ、殊ニ地方稅ノ如キハ尙ホ根本的ニ於イテ種々ノ考究スペキコトガアリマスルカラ、サウ云フコトヲ努メ尤モデアルト云フヤウナ風ニ向ハシメタイト思フノデアリマス、ドウカ一年ノ辛棒デアリマスルカラ、私ハ國民モ其聲ヲ聽キ、サウ云フ深切ナル考ヲ以テ、臨ンデ吳レルト云フコトナラバ、必シモ一年ヲ争フモノデハナイト思フカ、私ハ必シモ之ヲ頭カラ否決シテ了フトカ何トカ云フノヂヤアリマ

セヌガ、サウ云フ點ニ付テ、私ハ實ハ國家ノデアリマス、ソレナラバトクノ昔ニ左様ニ來ル話ヲシタインデアリマスルガ、ドウゾ大藏大臣ニ於テモ特ヲ著ナイデ、本當ニ一ツ胸襟ヲ開イテ御相談ヲ致シタイト、斯ウ思ヒマス、先ヅ是ダケノコトヲ申上グマス
○國務大臣(井上準之助君) 只今財政計畫ノ根本ニ付テノ御注意、御意見デアリマシタカラ、一應申述ベテ答辯ニ代ヘタイト思ヒマスガ、實ハ昨日豫算總會ニ於キマシテモ、阪谷男爵カラ昭和六年度ノ財政計畫及び將來ニ瓦ツテノ殆ド御同様ノ御話ガアリマシタノデアリマス、其處デ其御覽下サイハ、私ハ決シテソレニ對シテ強辯モ致シマヌ、又其通リトモ考ヘマス、ナゼサウカト申シマスレバ、大體ノ日本ノ財政ノ建方ハ、歲入デ參リマスト、過去五年間ト云フヤウナ歲入ノ平均ヲ採リマシテ、サウシテ將立テルコトガ出來ルカト、斯ウ申シマスト、十四億…チヨント十五億ト見マスト、七億者ノ多少ノ將來ニ對スル腰ダメノ見込ヲツケテ置クガ、大體ノ計畫、ソレカラ酒トカ或ハ第三種所得稅ノ如キハ、或ル年度ニ確定シテ了フト云フヤウナ風デ出來テ居ルノデアリマスガ、昨年ノ五、七月カラ昭和六年度ノ

豫算ヲ作り、歲入ヲ見積リマス、時代ニ、全ク左様ナ是マデノ大藏省ノ傳統的ノ計數ノデ、實ハ打解ケテ今日、私ハ心カラノ御話ヲシタインデアリマスルガ、ドウゾ大藏大臣ニ於テモ特ヲ著ナイデ、本當ニ一ツ胸襟ヲ開イテ御相談ヲ致シタイト、斯ウ思ヒマス、先ヅ是ダケノコトヲ申上グマス
○國務大臣(井上準之助君) 只今財政計畫ノ根本ニ付テノ御注意、御意見デアリマシタカラ、一應申述ベテ答辯ニ代ヘタイト思ヒマスガ、實ハ昨日豫算總會ニ於キマシテモ、阪谷男爵カラ昭和六年度ノ財政計畫及び將來ニ瓦ツテノ殆ド御同様ノ御話ガアリマシタノデアリマス、其處デ其御覽下サイハ、私ハ決シテソレニ對シテ強辯モ致シマヌ、又其通リトモ考ヘマス、ナゼサウカト申シマスレバ、大體ノ日本ノ財政ノ建方ハ、歲入デ參リマスト、過去五年間ト云フヤウナ歲入ノ平均ヲ採リマシテ、サウシテ將立テルコトガ出來ルカト、斯ウ申シマスト、十四億…チヨント十五億ト見マスト、七億者ノ多少ノ將來ニ對スル腰ダメノ見込ヲツケテ置クガ、大體ノ計畫、ソレカラ酒トカ或ハ第三種所得稅ノ如キハ、或ル年度ニ確定シテ了フト云フヤウナ風デ出來テ居ルノデアリマスガ、昨年ノ五、七月カラ昭和六年度ノ

財政ノ將來ヲ非常ニ憂慮心配シテ居リマスノデ、實ハ打解ケテ今日、私ハ心カラノ御話ヲシタインデアリマスルガ、ドウゾ大藏大臣ニ於テモ特ヲ著ナイデ、本當ニ一ツ胸襟ヲ開イテ御相談ヲ致シタイト、斯ウ思ヒマス、先ヅ是ダケノコトヲ申上グマス
○國務大臣(井上準之助君) 只今財政計畫ノ根本ニ付テノ御注意、御意見デアリマシタカラ、一應申述ベテ答辯ニ代ヘタイト思ヒマスガ、實ハ昨日豫算總會ニ於キマシテモ、阪谷男爵カラ昭和六年度ノ財政計畫及び將來ニ瓦ツテノ殆ド御同様ノ御話ガアリマシタノデアリマス、其處デ其御覽下サイハ、私ハ決シテソレニ對シテ強辯モ致シマヌ、又其通リトモ考ヘマス、ナゼサウカト申シマスレバ、大體ノ日本ノ財政ノ建方ハ、歲入デ參リマスト、過去五年間ト云フヤウナ歲入ノ平均ヲ採リマシテ、サウシテ將立テルコトガ出來ルカト、斯ウ申シマスト、十四億…チヨント十五億ト見マスト、七億者ノ多少ノ將來ニ對スル腰ダメノ見込ヲツケテ置クガ、大體ノ計畫、ソレカラ酒トカ或ハ第三種所得稅ノ如キハ、或ル年度ニ確定シテ了フト云フヤウナ風デ出來テ居ルノデアリマスガ、昨年ノ五、七月カラ昭和六年度ノ

ガラ昭和六年度、ソレカラ將來ニ對シテノ
數字ノ上カラ行キマシタナラバ、何ニモ不
都合ガアリマセヌ、只財政ノ餘裕ガナイ、
斯ウ云フコトノ御非難ハ其通リデアリマ
ス、又過去ノ歴史デ申シマスレバ、是マデ
ハ戰爭中ハ、自然增收ト云フモノガ常ニアッ
タノデアリマス、其結果ガ使テモ使ヒ切レ
ズニ剩餘金ト云フモノガドッサリアリマシ
テ、ソレヲ歲入ニズットイツデモ入レテ、サ
ウシテ歲計ヲ立テタノデアリマスカラ、頗
ル樂ニ行キ、財政ノ餘裕モアリ、仕事ヲセ
ムトスレバ、ソレデ出來タノデアリマス
ガ、左様ナ狀態ハ昭和四年度ノ決算ニ於キ
マシテ、殆ド其事態ハナクナッテシマッタノ
デアリマス、今日ニハ剩餘金ト云フモノハ
全クナイ、斯ウ云フヤウナ狀態デアリマ
ス、サウ云フコトデアリマスカラ、財政計
畫其モノノ數字ニ付テハ何ニモ不都合ハア
リマセヌガ、餘裕ガナイ、斯ウ云フコトニ
付テハモウ御話ノ通リデアラウト思ヒマ
ス、從フテ財政行政稅制ノ整理ヲシヤウ、
云フト、是デハ到底イカヌカラシテ、大イ
スウ云フコトハ、是マデハ只目前ノコトガ
出來ルダケデアッテ、國家ノ將來ヲ考ヘルト
ニ一つ行政ノ整理ヲシ、以テ財政ヲ堅固ニ

シテ税制ノ整理ヲシテ、國民負擔ノ公正ヲ圖ラウ、斯ウ云フロトニ決心ヲシタ所以デアリマス、ソレニラ只今ノ水野氏ノ舉ガラレマシタ、各項目ニ付テ誇ク申上ゲルコトモナイデハアリマセヌガ、只今海軍ノ第二次計畫、或ハ維持費ノ點、維持費ノ點ノ如キハ一万八千噸ニ對スル維持費ガ昭和十一年度以前、殊ニ此七八年ニ必要デアルコトモ能ク承知イタシテ居リマス、併ナガラ今ノ經濟狀態カラ割出シマスト、成程維持費ガ是ダケ要ルト言ハレテ、財政當局者方ソレニ用意ヲシテ置カヌト云フコトハ如何ニモ不都合ノヤウニ御覽ニナリマスケレドモ、アレ程ノ海軍省ナリ陸軍デナル豫算ヲ持テ居ルアノ省ト致シマシテハ、是マデノ大藏省ト海軍省トノ間デハ斯様ナ金ガ要ルト、ソレナラバ海軍自ラガ節約ヲシテ、相當之ニ應ジ得ルヂヤナイカ、ココニ無駄ガアル、アスコニ無駄ガアル、ココニアルカラ、何ニモ國防ノ缺陷ヲ彼此レ言ヘヌトモ節約ガ出來ルカラヤツテ來イト云フコトデ、今日マデモ維持費等ニ付テ十分ノ金ヲヤツテ居ルト云フコトハ、曾テ是マデノ例ニハナイノデアリマス、ソレハ一方カラ言ヘバ、不十分ト言ヘバ不十分デアリマスガ、左様ナコトハ差支ナク出來ルヤウニ……ソレナ

ラバ、一千九百三十六年以前ニ海軍ノ所謂第二次計畫ニ相當ノ金ガ要ル、金ガ要リマセウ、幾ラ要ルカ分リマセヌガ、相當ナ金ガ要ル、ソレニ付テ用意ヲシテナイト云フコトモ事實デアリマス、併ナガラ過去ノ日本ノ、サウ一概ニ私ハ申サレマスト、如何ニモ財政計畫ガアヤフヤノヤウデアリマスガ、千九百三十七年後ニハ六千万圓ノ餘裕シテ参リマセウ、幾ラカ要リマスガ、一億金ハ幾ラカ要ル、斯ウ云フコトモ必ズ實現シテ、水野氏ノ舉ガラレル通ニナリマセバ、水野氏ノ舉ガラ我々ハ果シテ全部ヲヤルカ、イツカラ實行スルカト云フコトハ不確定ナコトトモ考ヘテ居ル次第デゴザイマシテ、是マデノ計畫ニ於キマシテモ、前例ヲ舉ゲテ何モ自分ノコトヲ彼レ此レ言フ譯デモナイノデアリマスガ、華盛頓會議ガ濟ム、主力艦ノ代換建造ガ始マリ、サウ云フコトハ殆ド的確的ニ目ノ前ニ見エテ居リマシテモ、ソレニ對シテ十二分ニ金ガ藏、テ置ケルカト日本ノ財政カラ考へテ見マスト、左様ナコトハナカ／＼出來ナイ、ソレナラバ假ニ華盛頓會議ガ昭和六年度カラ主力艦ノ代換建造ガ始マリ、其他ノ

ト尋不ラレタラ、非常ニ不確定ナヤウデア
リマスケレドモ、其時ハ其時デ所謂其狀態
ニ應ジテ財政計畫ヲ立直スヨリ外ニナイヤ
ウナ次第デアリマシテ、左様ニ潤澤ニ行キ
得レバ、又剩餘金ノアルヤウナ時代ナラ左
様ナコトモ出來マシタケレドモ、今日ノヤ
ウナ狀態デハソレハ出來ヌ、出來ナクテモ
是カラ先數年後ノコトヲ考ヘテ見マスト云
フト、又過去ノ財政計畫ノ立テ方カラ見マ
スト、只今仰シャヤウニ、不都合、不完
全、不十分、斯ウモ我ミハ實ハ考ヘテ居ラ
ナイ次第デアリマス、又財政ノ困難ナ爲ニ
種々様ミナ窮策ガシテアル、斯ウ仰シャラ
レテ、成程賠償公債ノ六百三十万圓ヲ一一遍
減債基金ニ入レル主義ヲ立テ、政策ヲ立テ、
一昨年ニ發表シテ、僅カ昭和五年ニ之ヲ實
行シテ、サウシテ昭和六年度カラ此政策ノ
發表シタモノヲ取消サナケレバナラヌト云
フコトハ、是ハ政治家トシテハ此上モナイ
遺憾ナコトデアリマス、併ナガラ只今申シ
マス如ク、一億五千五百万圓ノ稅ガ減ッテ、
ソレヲ七億ト云フ少シ上ノ數字デ歲出ヲ減
ジテ行カウト、斯ウ云フコトヲ考ヘマシテ、
段々各部ノ行政組織ヲ見マスト、只今舉ゲ
ラレタヤウニ各所ニ無理ガ行ツテ居リマス、

各所ニ無理ガ行^トテ、節約ヲスルニハ無理ガ行^トテ居リマスガ、斯様ナ無理ヲ此上スルコトハ到底行政ノ運用ニ差支ヘルト云フコトデ、實ニ遺憾至極デアリマス、一旦國民ニ誓^フタモノヲ一年ダケ實行シテ廢メルト云ドモ、只今申シマスヤウナ經濟界ノ急激ナフヤウナコトハ非常ニ遺憾ニ思ヒマスケレル變動ニ應ズル特別ノ處置トシテハ、此行政ノ運用ニ支障ヲ來スヤウナコトガアッテハ困ルト云フコトデ、其點ハ御非難ノ通りノ事情デ廢メタノニアリマス、尙ホ煙草元賣捌ヲ廢メテサウシテ一時的ノ歲入ヲ圖^フテ居ルト云フ御話デアリマシタガ、是ハ昨日モ阪谷男カラノ御質問、御非難モアリマシタヤウデアリマスガ、此分科會ニ於キマシテ直接御答辯申上ゲルコトハ出來マセヌデシタカラ此處デ一應申上ゲテ置キマスガ、煙草元賣捌ノ制度ト云フモノハ阪谷男ガ言ハレマシタ如ク、數十年間日本デ實行サレテ來タ制度デアリマス、ソコデ何故ニ之ヲ止メタカ、斯ウ仰セラレマスト、甚ダ細カイ事情ノ話ニナリマスガ、年ヲ經ツニ從ヒマシテ、此元賣捌ト云フモノハ地方ノ政治トス^カリ結付イテシマ^フテ居リマシテ、昨日阪谷男ガ舉^ゲラレタヤウニ、三年毎ニ期限ガ來テ、期限ガ來タ時ニ自分ガ元賣捌

人ヲヤラシテ吳レロト云々テ、請求スル人ヲ
拒絶スル位ノコトハ如何ナ弱者デモソレハ
出来マス、併ナガラ一方ニ於テ煙草元賣捌
人ガ何時デモ地方ノ政治ノ地盤ニクツイ
テ居ル、或ハ選舉費ヲ出ストカ、或ハソレ
ガ所謂政治家ト惡因縁ヲ生ジテ居ルノデ
アリマス、ソコデ我ミガ非常ナ改正ヲシタ
イ、是ハ申上ゲマスト、煙草元賣捌ヲ市町
村ニヤラセル市町村ノ歲入ガ少ナイカラ、
元賣捌ヲヤラシテ吳レット云々テ、是ハ大分
前カラノ議論デアリマスケレドモ、市町村
ノ制度ヲ能ク研究イタシマスト左様ナ營利
事業ヲヤラセルト云フコトニハナラヌノデ
アリマシテ、其點モ餘程考ヘテ、寧ロ其方
ヲ當初ノ間デハ研究シテ見マシタケレドモ、
ドウシテモソレハ出來マセヌ、從テ私自身
ガ丁度昨年此期限ノ來マシタ時ノ體驗カラ
申シマスト、ソレハ到底弊害ニ忍ビナイノ
デアリマス、ソレハモウ其點ニ於キマシテ、
斯ウ云フモノハ年ガ延ビレバ延ビルダケ非
常ナソコニ惡イモノガクツイク、ソレカラ
一應是ハ止メルヨリ外仕方ナイ、斯ウ云フ
コトニナリマシタノデアリマス、成程其結
果ト致シマシテ數千萬圓ノ歲入ヲ五年度ト
六年度三分ケテ入りマスノデアリマスガ、
是ハ決シテ左様御推察下サルヤウニ、財源

ヲ得タイ爲ニ元賣捌制度ノ善惡邪止ヲ見ズ
ニ之フ變ヘテシマッテ云フヤウナコトハ
毛頭ゴザイマセヌカラ、其點ハ一ツサウ御
覽置キ願、テ置キタウゴザイマス、ソレカラ
救護法ノコトハ、今日マテ度々申上ゲマシ
タヤウナコトデアリマシテ、成程今御質問
ノ出テ居リマスノハ、今年度デハ七十萬圓
以上使ヒマス、來年度カラ丁度之ニ對シテ
三百万圓金ガ要ル、斯ウ云フコトデ財政計
畫ノ上デ三百万圓ダケノ金ガ出ルヤウニ覺
悟ヲシテ今年救護法ヲ七十萬圓以上カケテ
實行スルコトニシテ居リマス、左様ナ風デ
アリマシテ、尙ホ繼續費ヲ除イタ臨時費等
ニ對シテノ用意ガ少ナイ、成程度々此點ハ
御質問ガアリマシタノデアリマスガ、併ナ
ガラ少ナインデアリマス、併シ今日ノヤウ
ニ經濟界ガ急激ニ變更シテ行キマス場合ニ
ハ私ガ申シマス如ク、行政財政ノ整理ヲシ
テ、サウシテ財政ノ基礎ヲ固クシ同時ニ此
減タ歲入ニ對スル國家ノ行政ノ範圍ヲ決
メテ行クヨリ外ニハナカラウ、若シ水野氏
ノ言ハレルヤウニ今日ノ如キ行政ノ組織、
或ハ補助金ノ組織、其他ノ事ヲ歲出ヲ減ス
常ニアヤダト云フコトモ言ヘマセウ、
コトハセヌト云ノコトヲ土臺ニシテ歲入ノ

併ナガラ今申上ゲル如ク今日ノ財界ノ事情
ハ非常ナ歳入ガ減シタ、ソレニ對シテ歳出ヲ
減シタ、サウシテ今度ソレヲ釣合ヲ取シテ、
財政ノ基礎ヲ固クシテ行シテ見ヤウ、斯ウ云
フコトノ決心ヲ致シテ居リマス、財政ノ當
局者ト致シマシテハ、左程將來ニ於テ非常
ナ不堅固ナ財政計畫ト考ヘテ居ラヌノデア
リマス、尙ホ此減稅ノ實際ニ付テノ御話デ、
減稅案ハ減稅ト思テ居タ所ガ、或ル部分
ハ増稅ニナツタ、斯ウ云フ御話デアリマス、
其通りデアリマス、是ハドウシテ斯様ニナ
リマスカト云フト、地租法ノ改正ト減稅案
ト一緒ニシテ喰付ケテ御覽下サイマスト
其通りニナリマス、併ナガラ地租法ノ改正
ハ度々御説明申上ル如ク、大正十五年ノ議
會ニ出シテ賃貸價格ノ調査法ヲ通過シテ、
サウシテ二年間掛ケテ千万圓ノ金ヲ使シテ非
常ナ廣汎ナ調査ヲシテ出來テ、昭和三年カ
ラ實行スペキモノヲ種々ノ事情ノ爲ニ今日
マデ實行シテ居ラヌノデゴザイマシテ、此
際之ヲ實行シヤウ、斯ウ云フコトニ考ヘタ
ノデアリマス、即チ昨年ノ議會ニ地租法ト
ケヲ出シマシタ、今度ノ議會ニハ地租法ト
イマスト御了解下サルト思ヒマス、即チ地
減稅トクッ付ケマシタカラ 左様ニ御覽下サ

租法ノ改正ノ趣意ハ何處ニアルカト云フ、數十年間地租條例ヲ改正シナイ爲ニ、ソレニ負擔ノ公正ガ缺ケテ居ル、負擔ノ公正ヲ圖ルト云フ計畫ガ、只今申上ゲマシタ如ク、市街地ニ於キマシテハ大部分ハ宅地デアリマスガ、宅地五百萬圓程ノ稅ガ殖エマス、其代リニ田畠ニ於キマシテハ丁度千五百万圓以上減稅サレル、サウ云フヤウナコトニナリマシテ、若シ減稅ヲ茲ニ持テ參リマセヌケレバ、減稅ヲ之ニ適用スル前ノコトヲ考ヘマスト、宅地ニ於テ九百万圓ノ增稅トナリ、田畠ニ於テ九百万圓ノ減稅トナリ、田畠ニ於テ九百万圓ノ減稅トナリ、田畠ニ於テ九百万圓ノ減稅ニナリマス、ソレニ減稅ヲ適用致シマスカラ、只今申シマス如ク宅地ニ於テ五百萬圓ノ增稅デ田畠ノ方ニ於テ八千五百萬圓ノ減稅ニナックノデアリマス、成程先度私本會議デモ申シマシタデスガ、斯様ナ經濟界ノ場合ニ幾ラ何ンデモ增稅ヲ行フト云フコトハ誠ニ避ケナケレバナラヌコトデアル、併ナガラ又一方カラ申シマスト此地租法ノ從來ノ行掛リ、又負擔ノ公正ヲ圖ルコトハ一日モ速ニスルト云フコトガ適當ダト云フコトヲ考ヘマシテ、地租法ヲ今度實行スルコトニ致シタノデアリマス、其結果只今ノヤウニナリマスコトハ是ハドウモ已ム

ヲ得ナイ事情デアッテ、此際之ヲ遲延致シマスコトハ、又再ビ之ヲ實行スルコトガ出來致シマシタ次第デアリマス、ソレナラバ左様ナ姑息ナモノデアルカラ、來年此昭和六年度ニソレハ根本的ニ減稅ノ調査ヲスルナラバ、其時マデ延バシタラ宜イデナイカト云フ御話デアリマスガ、其點ハ本議會デモ私誰方カノ質問ニ對シテ答ヘマシタガ、我ハ政府ノ經濟界ニ對スル處置ト致シマシテハ、出來ルダケ減稅ヲスルコトガ最モ當ヲ得タ處置ダト、斯ウ考ヘマスノデアリマス、其外ニ色々ミ經濟政策モアリマセウ、種種様ミナ經濟政策モアリマセウガ、ナカナカ弊害ノ他日ニ残ラナイ經濟政策トシテハ餘り澤山モ斯様ナ時代ニナイト考ヘマスガ、減稅ヲスル、國民負擔ヲ輕減スルト云フコトハ、如何ニ高ガ少クテモ、如何ニアッテモ一日モ早く之ヲ決行シタイ、斯ウ云フ考カラシテ、海軍ノ補充計畫餘剩金ヲ以テシタヤウニ見エタノデアリマスケレドモ、セタヤウニ見エタノデアリマスケレドモ、私ハ今日マダ意見ヲ述ベル時機デナイト考ヘマスカラ、意見ヲ述ベルコトハ差控ヘルマス、詰リ此度地租法等ノ改正ト減稅案ガ伴ツタカラシテ、或ル所ニハ增稅ガアルヤウニ見エルケレドモ、之ヲ分離スレバ必シモサウ云フ意味ニモ取ラレナイデモ宜カラウト云フ御趣旨デアッタ、ソレハ能ク了承シテ居ル、詰リ此度ノ地租法ノ改正ト云フコトハ明治七年ノ地租條例以來ノ改正デアリマスカラ、私ハ是ハ極メテ重大ナ改正ト思フノデアリマス、從來度々地租ノ賦課ニ付テハ公正ヲ失テ居ル、地價ヲ基礎トシタノマスカラ、私ハ是ハ極メテ重大ナ改正ト思フノデアリマス、從來度々地租ノ賦課ニ付テハ公正ヲ失テ居ル、地價ヲ基礎トシタノマスカラ、公正ヲ失テ居ルカラ、所謂地價修正トカ、課稅標準ヲ變ヘルト云フコトハ度々出タノデアリマスル……ト云フ問題ハ

後ノ形ヲ以テ、根本的調査ヲ致シマスレバ、ソレデ宜イノデアリマシテ、決シテ差支ハナイト考ヘテ居リマス、唯御氣遣ヒニナルヤウナコトガアリヤセヌカト言ハレマスガ、ソレハ私等ハ今日ノヤウナ所謂普通ノ時代ソ豫想イタシマシタ今日ニ於キマシテハ左様ナコトガアッテハナラヌト考ヘテ居ルノデアリマシテ、又今日ノ財政計畫カラ言ウタナラバ左様ナコトヲシテハナラヌ、又サウセヌデモイケルト、斯ウ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、尙ほ多少粗漏デ抜ケマシタ點ガアリマシタラ御指摘下サイマシタラ御答ラ致シマス

○水野鍊太郎君 御懇切ナル御説明デ御趣旨ハ能ク了承イタシマシタ、私ガ質問イタシマスル理由ノ中ニ多少自己ノ意見ヲ含マセタヤウニ見エタノデアリマスケレドモ、私ハ今日マダ意見ヲ述ベル時機デナイト考ヘマスカラ、意見ヲ述ベルコトハ差控ヘルマス、詰リ此度地租法等ノ改正ト減稅案ガ伴ツタカラシテ、或ル所ニハ增稅ガアルヤウニ見エルケレドモ、之ヲ分離スレバ必シモサウ云フ意味ニモ取ラレナイデモ宜カラウト云フ御趣旨デアッタ、ソレハ能ク了承シテ居ル、詰リ此度ノ地租法ノ改正ト云フコトハ明治七年ノ地租條例以來ノ改正デアリマスカラ、私ハ是ハ極メテ重大ナ改正ト思フノデアリマス、從來度々地租ノ賦課ニ付テハ公正ヲ失テ居ル、地價ヲ基礎トシタノマスカラ、公正ヲ失テ居ルカラ、所謂地價修正トカ、課稅標準ヲ變ヘルト云フコトハ度々出タノデアリマスル……ト云フ問題ハ

年デアリマシタカ、此地價ノ地租ノ課稅標準ヲ變ヘテ、他價ヲ止メテ賃貸價格ニシタ云フコトニハ、是ハ其根本ニ付テハ議論ガアルカモ知レマセヌガ、私ハ大體ニ於テ是ハ已ムヲ得ナイト思フ、ソレデアリマスカラ是ガ實ヲ言ヘバ、モット早ク實行シ得タト思ウタガ、此間ニ内閣ノ更迭トカ、政變トカアツタガ爲ニソレガ行ハレナイデ、今度井上大藏大臣ノ手ニ依テ此改正ガ出來タノデアリマスカラ、其點ハ私ハ認メテ居ル、サウスレバ減稅問題ヲ離レテ、地租課稅標準ヲ變ヘレバ或ル所ニハ增稅ニナリ、或ル所ニハ減稅ニナル、是ハ當然起ルノデス、是ハ減稅ト離レテモ起ル、併シ私ハ今日ノ實情ニ鑑ミテ、此不況時代ニ鑑ミテ假令少シデモ、一部デアッテモ增稅ト云フコトハ私ハ成ルベクナラバ避ケタイ、斯ウ云フ風ナ感ジヲ持ツ、ソレデアリマスカラ先キニモ其コトヲ言フノデアリマスルケレドモ、大藏大臣ハソレハ減稅ト云フコトト、地租法ノ改正ト云フコトヲ混同シテ居ルガ爲ニサウ云フコトガ起ル、斯ウ云フノデアリマスルガ、私ハ左様ニ思ハナイ、若シ果シテ増稅ガ宜シクナイト云フナラバ、增稅ヲシナイ方法ヲ採ルコトガ宜イ、是ハ幾ラデモ出

避ケ得ル方法ヲ採ルコトガ出來ルノデア
ル、ト云フ譯デアリマスルカラ、私ハ今日
ノ實情ニ鑑ミテ、増稅ニナルト云フコトハ、
甚ダドウモ面白クナイト感ズルノデアリマ
ス、併シ其先キハ意見ニナリマスカラ申上
ゲマセヌ、併シソレガ出來ルカドウカ、出
來ル部分ハ無論アル、殊ニ井上君ハ今中央
財政、中央稅制ノコトバカリ御考ニナリマ
シタガ、地方稅制ト牽聯シテ御考ヲ願ヒタ
イ、是亦非常ナ不均衡デアリ、而モ增稅ガ
一層甚シクナル、或ル所ニハ減稅モアリマ
スルカラ、其結果ト云フモノガ地方ノ方モ
重クナッテ來マス、但シソコハ内務省ノ方デ
注意サレテ成ルベク地方ノ方ニ歲入ニ増減
ナカラシムルト云フコトハ爲スッテ御出ニ
ナルノデアリマスルケレドモ、地方稅ト國
ノ稅トヲ合セマスレバ、其點ガ殊ニ或ル增
稅ナドノ著シイ所ヲ見ルノデアリマス、併
シ是ハ私ハ内務大臣ガ見エテ、地方ノ實情
ヲ承ハリ、又自分モ其點ニ付テ質問ヲ致シ
タイト思ヒマスルカラ、ソレデ内務大臣ガ
出ラレタ場合ニ地方稅ト牽聯シテ更ニ御伺
ヒ申シタイト思フ、私ノ述べマシタ點ニ付
テハ趣旨ハ大體ニ於テ御同感デアツテ、但シ

10

○男爵阪谷芳郎君 私モチョット簡単ニ御尋ネ致シマス、一般會計ニ於テモ、又特別會計ニ於テモ等シク政府ノ會計デアル、何レノ會計ニシテモ不足ハ不足デアリマス、米穀調節特別會計デ一億五千万圓不足シテ居ルト云フコトヲ伺ンタ、缺損ガアル、特別會計ニ於テソレダケノ不足ガ生ジテ居ル譯ナノデアリマス、缺損モ不足モマア同ジヤウナモノデアリマスルガ、サウ云フモノハ擲^{スル}テ置イテサウシテ一方ニ減税案ヲ出スト云フヤウナコトハ、ドウ云フ譯ニナルノカ、今大藏大臣ノ御詰ニナッタ減税計畫ノ參考材料ノ總テニ括弧^{スル}テ、海軍條約ノ趣旨ニ依ル減税額ト云フコトガ書イテアル、減税ガ海軍條約ノ趣旨ニ依ル減税トカ云フコトハチヨ^ウト私ニハ異様ニ思フノデスガ、減税ト云フモノハ無論國民ガ負擔ニ苦シムカラ歲計ニ餘剩ガアレバ其減税ヲスルトシテモ歲計ニ餘剩ガナインラバ一方ニハ何力ヲ増シテ、一方ニ過重ノモノヲ減ズルト云フコトガ減税デアラウト思フノデスガ、海軍

○國務大臣(井上準之助君) 御承知ノ如ク
倫敦軍縮會議ノ招待狀ニモ書イテアリマス
如ク、世界ノ恒久ノ平和ニ貢獻スルト云フ
コトト、國民負擔ノ輕減ヲ圖ラウ、斯ウ云フ
趣意ガ譯^フテアリマス、是ハ英米ハ勿論留保
財源ガアル譯デモナシ、從^フテ其國カラ申シ
マシタラバ、海軍擴張ノ爲ニ彌ガ上ニ殖ヘ
ル國民ノ負擔ヲ殖ヤサヌヤウニシヤウト云
フ趣旨デ^{アッタニ}相違^{ゴザイマセヌ}、併シ日
本ニハドウカト申シマスト、六ヶ年間ニ五
億八百万圓ト云フ海軍ノ爲ニ當テテ置イ
テ、一方カラ言ヘバ華盛頓會議ノ主力艦代
置イタ財源ガアル、斯ウ云フコトニナリマ
スト、若シ軍縮會議ノ招待狀ノ趣意カラ申
シマスト、是ダケ必要ナ金デアルトシテ置
イタ其金ノ使ヒ殘リガアリマシタナラバ、
國民負擔ノ輕減ニ持^フテ行クト云フコトハ、
來ナイナラバ是モ已ムヲ得メノデアリマス
是ハ私ハ財政當局者トシテハ當然努メナケ
レバナラヌ、他ニ幾ラ努メテモ其減税ガ出

ガ、出來ルコトナラソレヲ試ミルコトガ本當デアラウ、斯ウ云フ考ヲ有テ此計畫ヲ立テタノデアリマス、ソレカラ只今言ハレス、其損ノ來タ所以ヲ段々研究イタシマシテ見ルト、途方モナイ間違タ特別會計ヲ置キマシテ利息……事務員ノ經費、米穀倉庫ヲ拵ヘル何モカモ利息ノ附クヤウナ金デヤッテ居リマス、勿論之ヲ公債ニ代ヘマシテモ、利息ハ當然附クノデアリマスガ、特別會計其モノトシテハ頗ル惡イ、成ベク早ク此整理ヲセヌケレバナラヌ、斯ウ云フコトハ大分前カラノ議論デアリマスガ、私自分ノ個人ノ議論ヲ申シマスト、米穀法ノ根本ガ決マラヌ内ニアア云フモノヲ實ハ整理ヲシテ、サウシテ幾ラデモ必要ノ金ヲ出スコトガ宜イカ惡イカト云フコトニ付テノ議論モ澤山アリマス、從テ何トカ米穀法ノ根本ガ決マルナラバ、ソレヲ見テ、サウシタ上デ財政ノ狀態ト照シ合シテアノ整理ヲシヤウ、斯ウ云フコトデアリマシテ、衆議院ニ會計ニ於テ、之ヲ引取テ、交付公債カ、何カデ處分スルノハ贊成シマス、併ナガラ今日ノ財政狀態所謂昭和六年度ノ財政狀態デ

ハ之ヲ……公債ヲ渡シテソレヲスル餘裕ガナカタ、斯ウ信ジモシ、サウ答ヘマシタ、米穀法ニ……此年度ノ末マデノ勘定ヲ致シマスト、一億五千万圓ノ損ニナシテ居リマス、其損ノ來タ所以ヲ段々研究イタシマシテ見ルト、途方モナイ間違タ特別會計ヲ置キマシテ利息……事務員ノ經費、米穀倉庫ヲ拵ヘル何モカモ利息ノ附クヤウナ金デヤッテ居リマス、勿論之ヲ公債ニ代ヘマシテモ、利息ハ當然附クノデアリマスガ、特別會計ヲ立テ直スト云フコトヲ考ヘテ居リマス、其財政ノ餘裕ガナカタガ、成ベク根本法ガ決マッタラ早キ機會ニ於テ、是ハ一ツ特別會計ヲ立テ直スト云フコトヲ考ヘテ居リマス、野サンノ御心配ノヤウニ唯美名ニ驅ラレス爲ニ、ソレヲサウ明言イタシテ居リマス次第デアリマス。

○男爵阪谷芳郎君 サウ云フ風ナ大キナ不足ガ、即チ會計ノ上ニアルナラバ、其爲ニ少シデモ餘タ金ヲ取テ置カヌト云フト、又公債デモ發行シナケレバナラヌト云フコトニナル、其發行ノ方法ハ預金部ニ引受ケルトカ何トカ云フコトニナルニシテモ、矢張リ此民間ノ金融ヲ壓迫スルコトニナルノダカラ、一億五千万モ穴ガ明イテ居ルナラバ、先づ其穴埋メノ方ニ減税ニヤッテ居ルモノヲ振リ向ケル、ソレデ海軍條約ノ趣旨ハ、

○國務大臣(井上準之助君) 阪谷男ノ言ハ國民ノ負擔ヲ減ズルト云フコトハ、是ハ皆其積リニ相違ナイ、マア海軍ノ計畫ヲ縮小シテ吳レバ、ソレダケハ國民ノ負擔ハ減タ譯デアルケレドモ、必シモソレガ減税ニナラナケレバナラヌト云フノデハナイノメテ、其國ノ歲計ニ餘裕ガアレバコソ初メテノ自ラ白狀スル譯デアリマスケレドモ、今ノ交付公債ト云フモノ……即チ法律ニ依リナカタ、斯ウ信ジモシ、サウ答ヘマシタ、大藏大臣ハ一方大キナ穴ガアッテ不足ノ出ルト云フコトハ御認メニナシテ居リナガラ、一方ノ金ヲ減シテ御仕舞ニナルト云フコトハ、ドウモ少シ減税ト云フコトガ、先刻水野サンノ御心配ノヤウニ唯美名ニ驅ラレハ、サウシテ國民ガ是ハ一向減税ニハナラテ、サウシテ案外驚クト云フヤウニ、却テソコニ國民ノ不平ノ聲ガ大イニ起ルト云フヤウナコトニナリハシナイカ、其減ズベキ理由ガアッテ減ズルノハ宜イケレドモ、減ズベカラザル穴ガ明イテ居シテモソレヲ減ジテ國民ノ負擔ガ減タ減タト云フテモ、豈ゾ知ラン一方ニハ大變ナ借金ガ殖ヘテ居ル、借款ヲ殖ヤシテ減税ト云フコト、一方ハ減税デアル、借金ノ殖ヘルノハ、ソレハ借金デアルト言ヘヌコトハナイケレドモ、ソレハ満足ナ減税トハ思ヘヌヤウデアル、ドウ云フ御解釋デアリマスカ

入金ヲシテ、サウシテ茲ニ減税計畫ヲ立てテアリマスガ、今日ノ經濟界ニ對スル處置トシテハ、アレヲ國民負擔ノ輕減ニ持テ行クノガ適當ナ處置デアラウ、斯ウ考ヘタノデアリマス、只今何カ他ニ之ヲト云フヤ

ウナ御考モアリマシタガ、色ミナ議論ガ世間ニモアリマシテ、救護法ノ如キモ此金デ處辨シタラ宜シイデヤナイカト云フ御議論モアリマシタケレドモ、政府ハ國民負擔ノ輕減ト云フコトデ舊地ニ進ンデ來タ所ガソコニアルノデゴザイマス

○水野鍊太郎君 私ハ、減税計畫ニ對シテハ、海軍條約ニ依テ得タル金ヲ減税ニ振向ケルノハドウカト云フ、阪谷男爵ト同ジヤウナ疑ヲ持ツタノデアリマス、海軍條約デハ必ズシモ減税スルコトヲ拘束サレテ居ラナコトガアツタモノデアルカラ、其五億八百万圓ト云フ數字ガアッタ、偶ミサウ云フスカラ、ソレハ振向ケルコトモアルカモ知イノダト思フノデス、唯軍縮ノ精神ト云フモノハ何デアルカト云フト、建造競争ヲ勝手ニヤラナイ、ソシテ其結果トシテハ國民ノ負擔ヲ減ズル方ガ宜イ、斯ウ云フ趣旨デアルト思ヒマス、是ハ必シモ此度ノ倫敦條約ノ爲ニ起ツタコトデハナイ、現ニ「ジユネーヴ」ノ國際聯盟ノ軍縮會議ニモサウ云フコトヲ云々テ居ル、此度ノ倫敦條約會議ノ招待狀ニモサウ云フ趣旨ハアツタト思ヒマス、條約ノ「ブレアンブル」カ何處カニサウ云フコトヲ書イテアリマスガ、是ハ必シモ條約ニ依ツテ考ヘネバナラナイコトデハナイ、國ノ一國ノ財政狀態ヲ鑑ミテ減税スルヨリハ、ヨリ以上ノ必要ナコトガアル、而シテ國民ノ利益デアルト云フコトデアレバ、必シモ

減税セヌデ其減税ノ金ヲ以テ、他ノ國民ノ利益ニナル仕事ヲヤッテモ、一向差支ナイ、現ニ英吉利デモ亞米利加デモ必シモ減税ヲヤッテヤシナイ、唯日本デハ海軍ノ建造費ニ五億八百万圓ト云フ金ヲ殘シテ置イタ、残シテ置イタ云フチヤ悪イカモ知ラヌガ、紙ノ上デサウ云フ數字ガアッタ、偶ミサウ云フコトガアツタモノデアルカラ、其五億八百万圓ト云フ金ヲ兩方ニ振向ケヤウト、斯ウ云フコトカラ出テ來タノデアラウト思フノデスカラ、ソレハ振向ケルコトモアルカモ知レヌノデス、他ニ内政上必要ナ仕事モナク其國民ノ負擔ヲ輕減スルト云フ風ニ仕向ケルコトガ必要ナラバ、ソレヲヤッテモ決シテ惡イト云フノデハナイケレドモ、是ガ必シモアルト思ヒマス、是ハ必シモ此度ノ倫敦條約ニ依ツテ拘束サレタ結果デアルト、云ハヌデモ宜イノデヤナイデセウカ、ソコヤウニ、華盛頓會議ノ條項ニ依テ、昭和六年度カラ主力艦ノ代換建造トハ云ヒナガラモ、ソレニ對スル十分ノ金モ從來ノ如クナカッタ、從來モナイノデアリマスガ、稍、不十分デアツタ爲ニ、減税額モ少ナカッタト云フ結果デアリマス

○國務大臣(井上準之助君) 條約ニ依テ決シテ拘束サレタ所ガアルノデモ何デモナイノデアリマス、御説ノ如ク軍縮會議ノ目的ガ今ノ國民負擔ノ輕減ニアルト云フコトデソレデマア政府ガ損ヲスルバカリデナク、民間ノ製鐵業者ガ迷惑ヲスル、到頭ソレガガ、ドウシテモ五百万圓以上ダラウト思フ、ソレデマア政府ガ損ヲスルバカリデナク、カ何トカ云フモノガ起ツテ、是モ商工省ノ特別會計デハアルケレドモ、大藏大臣ナリ會計検査院ガモウ少シ監督ガ出來ルノデヤナイデスカ、ドウモ米デハ一億五千万圓モ損ヲスル、製鐵所モ景氣ノ好イ時ハ大層儲カッタノデアリマスケレドモ、景氣ノ悪イ時ニ

ナレバ、投賣ヲシテ五百万圓モ損ヲスル、

サウシテ今貴族院ノ方ニ案ガ廻ツテ居ルノ

デスカ、一千万圓借入金ノ範圍ヲ殖ヤスト

カト云フ案ガ回ツテ居ル、サウシテ、又損シ

テ借入金ヲスル、之デハ際限ガナイヤウニ

思ヒマスガ、何ノ爲ノ特別會計カ、何ノ爲

ニ會計検査院ト云フモノガ設ケテアルノ

カ、殆ド疑フノデス、ア、云フコトニ對シ

テハ、能ク小言ヲ仰ツシヤッタノカ、小言ト

云フコトモアリマスマイガ、ソレヲ大藏大

臣ガ監督權ヲ以テ相談ニ興カッテ居ラレタ

ノカドウデアリマスカ、一方ニ成ベク我々

モ減稅シタイノデアリマスガ、ケレドモ一

方ニ甚ダ無駄ナ金ヲ使ツテ居ラレル、又無駄

ニ歲入ヲ損ヲシテ居ラレルヤウナコトハ、

餘リ斯ウ賢明ナラザル仕方ノヤウニ思ハレ

ルノデアリマスガ、チヨット御尋ネシタイ

○國務大臣(井上準之助君) 今度米穀法

ト、米穀需給調節特別會計法ノ改正案ヲ提

出イタシテ、貴族院ニ廻ツテ居リマスガ、過

去ノ成蹟ガ只今阪谷男ノ云ハレル通リニ、

餘リ好マシクナイモノデアリマスカラ、今

度ハ率勢米價ト云フ大脅ムヅカシイ算盤デ

アリマスガ、兎ニ角率勢米價ヲ出シテ國民

ノ生計費ト、生産費ヲ調查イタシマシテ、

サウシテ上ト下ノ最高最低ノ極度ヲ決メ

テ、サウシテ率勢米價ヲ應用シテ米ヲ買ハ

ウ、即チ米穀法ノ出動イタシマス時機ヲ、

之マデノ人爲的ナ腰ダメニ非ズシテ、數字

ニ根據ノアルモノニシヤウト云フコトノ改

正デアリマシテ、ソレガ改正サレマシタナ

ラバ、之マデノヤウニ需給調節特別會計ニ

アンナ大キナ損ヲカケルト云フコトモナカ

ラウト思テ居リマス、ソレガ決マリマセヌ

間ハ、生産費モ分ラナイガ何ニモ分ラヌ、

唯ダ米ガ安クナッタ、買ハウ、斯ウ云フコト

デ、殆ド標準ナシニ行キマス爲ニ、非常ナ

損ヲ來スト云フヤウナコトデアリマシテ、

長イ間ノ習慣ガ左様ナ狀態ニナッテ居リマ

シテ、モウ弊害ノアル所ハ十分認メテ居ル

ノデアリマス、併シ今度ノ改正案ガ行ハレ

マスレバ、是マデノヤウナコトハ斷ジテナ

イト、斯ウ云フコトヲ確信シテ居ルノデゴ

ザイマス、只今製鐵所ノ御話ガアリマシタ

ノデスガ、御承知ノ如ク、千万圓ノ借入金

ヲ増ス案モ貴族院ニ提出イタシテアリマ

ス、只今ノ投賣ヲヤリマシタコトハ、別ニ

私ハ相談ニ預ツテ居テドウト云フコトハア

リマセヌ、後デ話ヲ聽イテ、只今阪谷男爵

ノ言ハレルヤウナ感ジヲ持ツテ居ル次第デ

アリマシテ、機會ガアリマシタナラバ、當

サセルコトニ致シマス

○男爵阪谷芳郎君 本員ノ御尋スルノハ特

別會計ト雖モ、大藏大臣ガサウ云フ餘リ非

常識ナ場合ニハ監督ガ出來ルノデハ、ナイ

カト思フノデスガ、其マア決シテ農林省ヤ

レドモ、ソレガ爲ニ大藏大臣ハ是ハ連署シ

商工省ノ役人ガ非常識ト云フ譯デハナイケ

ラウト思テ居リマス、ソレガ決マリマセヌ

レガ爲ニアルノデハナイカト思フガ、余ハ

ドウモヒドイヤウニ思フノデ、念ノ爲ニ御伺

シテ置キマス

ルト云フ事柄ハ、是ハモウ當然國民負擔ノ

輕減ニナル、製艦ヲスル費用ハ國民ガ出ス

ノデスカラ趣意ハモウ減稅ニナルト云フコ

トハ製艦競争ヲ止メルト云フコトデ其中ニ

含ンデ居ルノ譯デスネ、ソレガ倫敦條約ノ

趣旨デアル、併シ其趣旨ヲ實行スルトセヌ

トハ此國情ニ依テ達フ譯デアル、一方ニハ

先刻御話ノヤウナ起債マデモシテ利息ヲ拂

フ、此結果國民ノ負擔ヲ増スト云フコトモ

アラウ、又一方ニ於テハ國ノ收入ガ非常ニ

減ジテ居ツテ困ルト云フヤウナ國情ハ、其趣

旨ヲ必ズシモ實行スル必要ハナイ、實行ス

ルトセヌトハ此國情ノ如何ニ依ル、又其減

稅ヲ實行スルトシテモ、其條約ヲシタ年カ

其翌年ニ必ズ之ヲシナクチヤナラヌコトハ

ナイ、何レ倫敦條約ト云フモノハ永年ニ瓦ツ

トニナレバ、五年ノ後ナリ、三年ノ後ナリ

テ效力ヲ持ツ、ソコデ製艦競争ヲ止メルコ

トハナレバ、結局倫敦條約ガ出來テ居リマス

レバ、製艦競争ヲ止メレバ恩澤ヲ受クル時

期ガ來ル、ソレデスカラ減稅ト云フ事柄ヲ

實施スルト云フコトハ、其國情ノ如何ト、

其國ノ又其年ノ狀況デ收入ノ如何ト、之ニ

○湯地幸平君 大藏大臣ニ伺ヒマスガ、此

倫敦條約ト減稅トノ關係ニ付テ、質問應答

ヲ承ツテ居リマスト、斯ウ云フ風ニ解釋シテ

宜シイデスカ、倫敦條約デ製艦競爭ヲ避ケ

依テ自由ニ考ヘテ宜イコトデアルト、斯ウ
私ハ解釋イタシマシタガ、ソレニ間違ヒゴ
ザイマセヌカ

○國務大臣(井上準之助君) 少シ湯地君ノ

考ト日本ノ事情ノ達ヒマス所ハ、五億八
百万圓ト云フ、六ヶ年ニ割當テタ、海軍ノ
爲ニ仕舞テナッタ金ガアリマス、ソコデ外
國トモ違ヒ、又誰モ考ガソコガ達フ所デア

ラウト思ヒマス、併シ假リニ斯ウナリマシ
タナラバ、サウナラザルヲ得ヌノデアリマ
ス、昭和六年度七年度ニハ海軍ガ巨額ナ金
ヲ要スル、從シテ留保財源ガソコデハナイ、
ソレデヤカラ昭和六年七年ハ減稅ガ出來ヌ
ガ、昭和八年カラ減稅ヲシタラ宜イデヤナ
イカ、ソレヨリ外ニハ實行ガ出來ヌト云
フヤウナ場合モアリ得ルノデ、ソレナラバ
湯地君ノ言ハレルヤウニ、ソレデ宜カラウ
ト思フ、併シナガラ留保財源ガコニアッテ、
ルカト云フコトヲ考ヘマスト、財政計畫ガ他
ニエライ缺陷ガナシニ減稅が出來得ルモノ
ナラバ、私ハ減稅ハ當然スベキモノト、斯
ウ考ヘタノデアリマス、若シ留保財源ガナ
カッタナラバ……、或ハ同じジク留保財源ガ
アッテモ、海軍ガ最初ノ中ニ從來ノ造艦計畫

ノ残リノ金、殘リノ仕事ガナシニ昭和六年
億五千五百万圓ノ稅ノ減ルニ付テ、他ノ各

到底相手方ノ國ニ對シテ位置ガ保テヌト、
斯ウ云フナラバ是モ已ムヲ得ナイ、併シ整
備計畫ガ年度割ガズト出來テ、其年度割ノ
如何ニ依テ減稅計畫ガ出來ルナラバ、私ハ
ソレハ減稅スルコトガ當然ノ理ダト考ヘタ
ノデアリマス

○湯地幸平君 五億八百万圓ト云フ所ノ此

保留財源ハ現ニ實在シテ居ルト云フ今ノ御
話ニナッテ來ルト、是ハ其内ヲ海軍ニ三億
使シテ、二億圓残タ、ソレダカラ是ダケハ減
稅ヲシテ民力ヲ涵養シタガ、宜イデヤナイ
カト云フコトニナル、ソレハ紙ノ上ダケデ
實際ハ金ハ何モナイノデアル、斯ウ云フ御
話ニナルト、チヨット今ノ大藏大臣ノ御話ダ
ケデハ少シ足ラヌヤウニ思ヒマス

○國務大臣(井上準之助君) ソコガ湯地サ

ンニ申上ゲマスガ、海軍ニ軍縮條約ガ出來
タ、昭和六年度デハ私ガ言フ如ク、一億五
千五百万圓ノ稅ガ減シテ……、其時ニ五億八
百万圓ノ留保財源ヲ如何ニ見ルカト云フコ
トニ依テ、今ノ御質問ハ決マル、私ハ此五
億八百万圓ノ留保財源ハ、是ハ手ヲ著ケナ
イ、是ハマア財政計畫ノ中ニ入レテ置ク、
外ノ歲出デ一億五千五百万圓ノ稅ヲ減サ

ウ、斯ウ云フコトデ進ンデ行キマシテ、一
億五千五百万圓ノ稅ノ減ルニ付テ、他ノ各
省ノ歲出ヲ減シ得タ時ハ、五億八百万圓ハ
財政計畫ノ中カラ行キマスレバ、現金ノア
ルノトハ達ヒマスケレドモ他ノ繼續費……

他ノ省ニ於テ充テマシタ繼續費ト同ジコト
ニナリマス、即チ海軍ガ三億七千四百万圓
ノ計畫ヲ六ヶ年ノ期間デチヤント持ツテ居
ル、今日ハ海軍トシテハ、ソレダケノ金ハ
使ヘルモノトシテ仕事ノ計畫ヲシテ行ク、
而シテ一億三千四百万圓、是ダケの確ニ殘
ルトシテ減稅ヲシテ行シテ宜イノデアル、ソ
レハ財政計畫ハ將來ニ於テ、現金ガアルノ
ト達テ、狂フコトハアル、斯ウ云フコトヲ
仰シヤラレマスガ、狂フ時ハソレハマア特
別ナ事情デ今日昭和六年度カラ將來即チ昭
和十一年度マデノ計畫ヲ見マストキハ、私
ノ見タヤウニ見ナケレバ、ソレハ問題ハ出
來マセヌ、御手許ニ差出シテ審議ヲ願テ御
協贊ヲ仰グ時ハ、即チ此計畫通リニ實行シ

マスト云フ立前デナケレバ御協贊ハ仰ギ得
ナインデアリマスルカラ、ソレガ餘程ソコ
ニ違テ來居ルト我々ハ考ヘマス
○湯地幸平君 只今大藏大臣ノ御考ニナ
モ湯池君ノ御議論ハサウデアリマシタガ、
我々ハ少シ窮窟ニ解釋イタシタカ知レマセ
ヌガ、國民負擔ノ輕減ト云フコトヲ窮窟ニ
考ヘテ、減稅ガ宜シイ、減稅スベキ成行デ
アル、斯ウ考ヘマスノト同時ニ、斯ウ云フ

敦條約ノ趣旨ニ反スル結果ニハナラヌト思
フ、併ナガラ今御答辯ノ如ク御考ヘニナル
ノモ又一つノ見方デアル、假ニ其見方が宜
イト致シマシテモ、一體減稅ト云フ事柄ハ
負擔ヲ輕クスルノハ何ノ爲カト云フト所謂
國民生活ノ安定、尙ホ煎ジ詰メレバ國民ノ

共存共榮ト云フコトデスカラ、此前カラ此
救護法ガ問題ニナリマシタ、此救護法ニナ
ゼ充テナイカ、國民ノ負擔ヲ輕クスルヨリ
モ飢餓ニ迫ツテ居ル者ヲ救フト云フ事柄ハ、
先刻大藏大臣ノ言ハレル趣意カラ云フト此
方ガ急ノヤウニ思フ、又減稅ト云フ事柄ハ
シ負擔ヲ輕クスルト云フノデアルガ、一方
ニ於テ食ヘナイ者ヲ救フ、サウ云フコトニ
ナル、其御趣旨ヲ貫イテ行ケバ先ヅ減稅ヨ
リ先ニ救護費ニ充テルト云フコトガ理論上
至當ノヤウニ思フ、之ニ付テノ御考ハ如何
デアリマスカ

○國務大臣(井上準之助君) 本會議ニ於テ
モ湯池君ノ御議論ハサウデアリマシタガ、
我々ハ少シ窮窟ニ解釋イタシタカ知レマセ
ヌガ、國民負擔ノ輕減ト云フコトヲ窮窟ニ
考ヘテ、減稅ガ宜シイ、減稅スベキ成行デ
アル、斯ウ考ヘマスノト同時ニ、斯ウ云フ

ニデモ使フガ宜シイ、政府當局者ノ意見ニ
使フト云フヤウナ濫ニ流レルコトヲ致シマ
スヨリモ、我々ハ是ハ國民ニ公約スル上力
ラ言ッテ、財政當局者モ此處ニ行クノガ本當
ノ途、自ラモ之ニ依ッテ拘束サレテ行クト
云フコトデ、我々ハアナタト違ヒマシテ、
少シ窮屈ト云ヒマスカ、サウ云フ風ニ考ヘ
テ來タノデアリマス、成程御説ノヤウニソ
レヨリ以上ニ必要ナルモノガアッタラ使ラテ
モ宜イデヤナイカト云フ議論モ立ツケレド
モ、我々ハサウ廣クハアレヲ考ヘマセヌデ
ゴザイマシダ

致シハシナイカ、外ノモノニ溢ニ使フト云
フ意味デハナイ、今大藏大臣ハ產業資金ニ
使フトカ、或ハ救護費ニ使フトカ云フ風ニ
辯デアリマシタガ、ソレハ同感デアリマス
ガ、尤モ減税ヲ……段々此趣意ヲ推シ擴メ
テ行クト、結局ノ所ハ人間ノ生活ヲ維持サ
シテ行クト云フコトニ落チルノデアリマ
ス、其點ハ救護費ダケハ減税ノ趣意ト同ジ
コトニナリハシナイカ、是ダケノコトヲ申
上ゲて置キマス、是カラ先ハ又色ニ御考ノ
範圍、廣狹ガ違テ來ルカラ、ソレハ申上ゲ
マセヌ、尙ホ他ノ機會ニモウ少シ詳シク申
上ゲル機會ガアラウト思ヒマス

行詰リ、色々社會政策ノ上ニ於テ實行シナ
ケレバナラヌト云フヤウナコトヲ生ジマシ
タノハ、要スルニ歐羅巴大戰ノ結果ガ今日
ノヤウナ成行キヲナン、歐羅巴大戰ガ始マッ
タ大正三年、四年五年頃ノ日本ノ國費ハ通
常經濟竝ニ輸入品マデ合セマシテモ國ノ經
濟ガ五億乃至六億圓、地方經濟ハ全部合セ
テ府縣稅町村稅マデ合セテ三億何千万圓ト
云フ數字デアリマシテ、兩方合セテモ十億
万圓位ノ地方稅竝ニ國稅ヲ合セモ國民ノ
負擔ガ十億圓デ濟シダモノガ、今日ハ國稅
ト地方稅ヲ合セレバ 三十四五億ノ數字ニ
上ツテ居ルノデアリマス、民間ノ經濟ハ米ノ
値段ト云ヒ又生絲ノ値段ト云ヒ一般ノ商工
業者ノ事情モ矢張リ歐羅巴大戰ノ始マッタ
十億前後ノ財政ノ狀態ト今ハ殆ド違ハヌ程
度マデニ民間ノ經濟界ハナツテ居ルノデア
リマス、然ルニ國ノ財政竝ニ地方稅ハ三十三
幾億ノ多額ニ上ツテ居ル、今度減稅ナサラン
ト云フヨリハ、ナサルノハ誠ニ 結構ナ話
デ、小ナリト雖モ二千万圓デモ千万圓デモ
減稅ナサル御心掛ケニ對シテハ、我ニ國民
ハ感謝ノ意ヲ表シマスガ、餘リニ增稅ノ時
ニハ非常ニ勇敢ナ大藏省ガ、國民負擔ノ輕
減ヲ計ラナケレバナラヌ時ニハ餘リニ貧弱
ナ……此間蚊ノ涙トカ云フ話ガアッタノデ

又、一千万圓トカニ二千万圓トカ云フヤウナ
數デ、國民ノ經済能力ト云フモノニ適合ス
ル一體數額デアリマセウカ、經濟界ハ大分
變動ガ來テ居ルノデスガ、上ボス時ダケハ
ドン／＼上ボシテ、減ラス時ハ甚グ勇氣ノ
ナイ御減ジ方ノヤウニ考ヘルノデアリマス
ガ、而モ御減ラシナサルノハ……何カ御質
問ガ大分色ミノ方面ニアリマスガ、先年、
何年デスカ、豫算委員會ノアツタ時ニ、時ノ
海軍大臣ニ伺フト、華盛頓條約ガナクチ八
八艦隊ヲ殘ラズ遂行スレバ、海軍省ダケデ
モ一箇年ノ經費ハ十四億五千万圓ニナルト
云フヤウナ答辯ヲ得タヤウナ記憶ガアリマ
ス、ソレハ過去ヲタコトデアリマスガ、兎ニ
角海軍省ダケデモ十四億五千万圓ノ計畫ヲ
スルト云フヤウナコトヲ認メテ財政計畫ヲ
御立テナヌタ時代ハ、マルキリ歐羅巴大
戰ノ時ノ有様カラ其無謀ノ計畫ヲシ、無謀
ノ豫算モ出來タカモ知レスガ、今日歐羅巴
大戰ガ終ヘ、一般ノ經濟狀態モ逆轉シテ來
テ、歐羅巴大戰ノ前ニ戻リツ、アルヤウナ
今日ニ於テ、減稅ガ一ヶ年二千万圓、而モ
都市ノ地租ハ減稅デナクテ、先キ御話ニ
ナツタヤウニ增稅ニナリハシナイカト云フ
ヤウナ、詳シク調べテ見マセヌガ、餘り國

民ノ收入ト國家ノ政治費ノ割合ガ權衡ヲ得テ居ナイヤウナ氣ガシマスガ、大藏大臣ハ此點ニ付テ、斯ウ云フ今ノヤウナ負擔ヲサシテ、國民經濟ハ差支ナイト云フ御考デアリマスカ、一應御意見ヲ承リタイ

○國務大臣(井上準之助君) 大橋氏ノ言ハレルコトモ御尤ト考ヘマスノデ、此前モ本會議デ一般會計ノ節約ニ依テ減稅ヲスルコトガ可能性ガアレバ、當然ヤラナクチヤナリマセヌ、又一億五千五百万圓稅ガ減ジタ所ニ應ジテ歲出ヲ減シタノデスカラ、若シ稅ガ減ラヌト致シマスレバ、一億五千五百万圓程、歲入ニ餘リガ出來テ居ル譯デス

ガ、ソレガ經濟界ノ變動ニ依テ歲入ガ一億五千五百万圓減、タト云フコトハ、明ニ經濟界ノ狀態ガ反映シテ居リマス、ソコデソレニ對シテ歲出ヲ減ジマスダケデモナカヽ先刻御話スル如ク、半分ハ義務費デ、殆ど手ノ付ケラレナイヤウナ金デアリマスル爲ニハナカヽソレデモ容易デナカヽタ爲ニ、海軍ノ剩餘財源ニ依ルダケノ減稅ホカ出來ナカヽタノデアリマス、言々テ甚ダ不甲斐ナイヤウナ御返事ヲシタヤウナ次第デアリマスガ、ナカヽ今日ノ日本ノ財政ハ急激ニ稅ガ減リマシタ爲ニ、希望ノ點ハ幾ラモアリマスガ、希望ヲ達スルコトガ出來ズニ非

常ナ財政當局者ハ困難ヲシテ居ルノデアリマス、財政ノ計畫ハ鞏固ニ保タケレバナラヌ、將來ニ對シテモ相當ナ鞏固ノ道ヲ圖ラヌケレバナラヌ、今ノ目ノ前ニアル經濟マスルノデスガ、只今申ス如ク、稅ガウント減リマスト、急激ニ減ジテ、ナカヽ此儘デハイカヌノデアリマシテ、何トカシテ日本ノ財政ノ一つ立テ換ハシナケレバイケテ換ヲスルト云フコトハ絶對必要ト考ヘテ居リマス

○大橋新太郎君 ナカヽ現在ノ稅ガ御話ノ通り、地方稅モ國稅モ政府ノ實收ガ稅率ヲ減ラサナイデモ……經濟界ハ其點ハ變ラテ居リマスカラ、關稅其他ガ總テ減ルト云テコトハ當然ノ結果デアリマス、併シ現在ノ稅率ガ如何ニ重イカト云フコトヲ云ヒマスト、最モ今年ハ米ガ安イ、先刻モ多額納稅者ノ貴族院議員ノ五十嵐甚蔵君ノ話ヲ聞クト、今年ハ米ガ、一俵小作米ヲ取ルト云フト所得稅マデモ殘ラズ拂テ二圓五十錢持出ガ要ル、家計費ハ何モ掛ケナイデ、國方稅モ斯ウ云フ九百万圓トカ二千万圓デナ

ガ、實際左程膨脹シタ財政ヲ一朝ニシテ減シマスコトハ餘程困難デス、餘程困難デ、留保財源ニ手ヲ付ケズニ、外ノ省デ減シテ見タ經驗カラ申シマスト、ナカヽ困難デゴザイマス、委員ノ方ミニ過去ニ於テ大藏大臣ヲ御勤メ下サッタ方モ澤山居リマスガ、是ハ決シテ容易イト仰シヤラヌコトト思ヒマス、極メテ困難デアリマス

○大橋新太郎君 大藏大臣ガ御困難ト仰シヤルノハ御尤デスガ、丁度我ミ民間ノ會社ガ經濟界ガ變ラテ利益ガナクナッタ時ニ、高イ配當ラシ、サウシテ會社ノ基礎ヲトウトウ過ブテ破產ノ狀態ニ陥ルヤウナ民間會社ガ御承知ノ通リアッテ、大藏大臣ハ銀行ニ餘計ナ配當ラシテハイカヌゾト云フコトヲ、日本銀行總裁時分カラ仰シヤッタコトモアルヤウニ思フノデス、丁度今ノ稅ノヤリ方ハ、民間ノ會社ガ收入ガ減レバ配當ヲ減スト同ジヤウナ整理ヲナサラヌケレバ、國ノ貴族院ナンカデ質問ヲ承シテ居ルト、却テ經濟ガ成立ツ譯ハナイト思フノデス、色々ト同ジヤウナ整理ヲナサラヌケレバ、國ノ貴族院ナンカデ質問ヲ承シテ居ルト、却テ經濟ガ成立ツ譯ハナイト思フノデス、色々費ヲ増サヌケレバイケナイト云フヤウナ御質問、増ス結果ニナルヤウナ御質問ガ多イヤウニ、私ハ聽キ様ガ惡イノカ知レマセヌ

ケレドモ、是デヤ困タモノデヤナイカト云

フヤウナ氣ガスルノデスガ、モウ少シ、十

億デアタモノヲ僅ニ歐羅巴大戰ノ結果三

十億ニ膨脹サレテ、減ラス時ハ九百万圓、

二千万圓ト云フ、是ハ民間ノ會社ナラバ直

チニ破産シナケレバナラス、先程阪谷男爵

ノ御質問ニ、米穀法ガ一億何千万圓カノ缺

損ガアッテ、ソレヲ其儘ニシテ置クノハ怪シ

カラヌト云フ、米穀法ニソレダケ缺損ガアッ

タノカドウカ、我ミハ迂闊デ初メテ承ルノ

デスガ、ソンナモノヲ後廻シニナサシテ、今

度ハ情ナイ減稅ガ出來ル譯デスケレドモ、

モウ少シ思ヒ切タ……國事多端ノ際ニハ

財政状態ノ眞情ヲ國民ニ懃ヘテ、全議員モ

眞面目ニナッテ、モウ少シ思ヒ切タ財政計

畫ノ立直シヲヤル譯ニ行カヌモノデスカ

○國務大臣(井上準之助君) 誠ニ御意見御

尤デアリマシテ、財政當局者ニ對シマシテ

非常ナ御深切ナ御忠告デアリマス、出來ヌ

迄モサウ云フ趣意デハ勿論努メナケレバナ

ラヌト考ヘテ居リマス
○委員長(伯爵柳澤保惠君) 皆様ニ御誇リ
ヲ致シマス、今日ハ此程度デ散會シテ宜シ
ウゴザイマセウカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレデハ散會

イタシマス、明日ハ本會議ニ豫算ガ上程セ

ラレマスガ、本委員會ハ十時ニ矢張り始メ

マス、若シ午前缺員ニナリマスレバ午前ハ

休ンデモ宜シウゴザイマス、兎ニ角十時ニ

始メマスカラ、ドウゾ其御積リデ御出デヲ

願ヒマス、散會イタシマス

午後三時五十一分散會

出席者左ノ如シ

副委員長 伯爵柳澤 保惠君

委員長 男爵阪谷 芳郎君

公爵一條 實孝君

子爵梅小路定行君

子爵大久保 立君

子爵裏松 友光君

水野鍊太郎君

伊澤多喜男君

男爵藤村 義朗君

男爵小畑大太郎君

男爵黒田 長和君

片岡 直溫君

藤田 四郎君

湯地 幸平君

馬場 錠一君

長岡 隆一郎君

後藤 文夫君

木村清四郎君

大橋新太郎君

尾崎元次郎君

濱口儀兵衛君

田中 一馬君

森田 福市君

大藏大臣 井上準之助君

國務大臣

大藏政務次官 小川郷太郎君

大藏參與官 勝 正憲君

大藏省主税局長 青木 得三君

大藏省理財局長 富田勇太郎君

貴族院事務局